

ポータブルラジオ レコーダー

取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド（Web取扱説明書）
を閲覧できます（パソコン・スマートフォン用）。
ポータブルラジオレコーダーの詳しい使いかたや
困ったときの対処方法を説明しています。
<http://rd1.sony.net/help/icd/r110/ja/>



⚠ 警告 安全のために (120 ~ 121ページも合わせてお読みください。)

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見る電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。

よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

取扱説明書(本書)

ポータブルラジオレコーダーの基本操作(録音・再生・削除)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

かんたんスタートガイド(別冊)

ポータブルラジオレコーダーの基本操作(ラジオ受信・録音・再生・消去)や、ポータブルラジオレコーダーを活用するための情報などを記載しています。

Sound Organizer(Ver.1.6)(サウンドオーガナイザー)を使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフトウェア「Sound Organizer」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン
スマートフォン
タブレットで見る

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ポータブルラジオレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。

また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。

閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。

ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(101ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

目次

安全のために	2
警告表示の意味	2
マニュアルについて	3

■ 準備する

準備1：箱の中身を確認する	8
各部のなまえ	9
準備2：スピーカークレードルを準備する	11
AMアンテナを接続する	11
FMアンテナを接続する	12
ACアダプターを接続する	12
準備3：充電する	13
スピーカークレードルで充電する	13
パソコンを使って充電する	13
USB ACアダプターで充電する	13
準備4：電源を入れる	14
電源を入れる	14
電源を切る	14
準備5：初期設定をする	15
電池を充電後すぐに時計を合わせる	15
操作音を設定する	15
現在いる地域を設定する	16
自動時刻補正を設定する	17
準備6：お使いになる前に — 基本操作の確認	18
ホームメニューで使いたい機能を選ぶ	18
オプションメニューで設定する	19
フォルダとファイルについて	19
スピーカークレードルを使う	20
メモリーカードを入れる	21
メモリーを切り換える	22
誤操作を防止する(ホールド)	23

■ ラジオを聞く

ラジオを聞く	24
放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)	27
お気に入りラジオ局を使う	28
お気に入りラジオ局を登録する	28
お気に入りラジオ局を聞く	29
ラジオ放送局をプリセット登録する	30
地域を設定して放送局を自動登録する	30

自動でプリセット登録する(オートプリセット)	30
手動でプリセット登録する	31
プリセット登録を消去する	31
放送局名を変更する(放送局名変更)	32
タイマーを使う	33
オンタイマーを使う	33
スリープタイマーを使う	35
ラジオの設定を変更する	36
スキャン感度を設定するには	36
ラジオノイズカットを使用する	36
■ ラジオを録音する	
受信中のラジオを録音する	37
ラジオを予約して録音する	39
録音予約する前にお読みください	39
予約して録音する	40
予約を確認する	42
予約を変更する	42
■マイクや他の機器をつないで使う	
マイク録音を始める	43
録音レベルガイドについて	44
録音中の音をモニターする	44
録音の設定を変える	45
用途に合わせた録音シーンを選ぶ	45
Myシーンの設定項目をお好みに編集する	46
個別の録音設定項目を変更する	47
音がしたとき自動録音する－VOR (Voice Operated Recording)録音	48
外部マイクをつないで録音する	49
電話機や携帯電話の音声を録音する	50
他の機器からの音声を聞く	51
他の機器の音声を録音する	52
シンクロ録音機能を使って録音する	52
シンクロ録音機能を使わずに録音するには	53
他の機器に音声を録音する	54
■ ファイルを再生する	
録音したラジオを再生する	55
ファイルを選んで再生する(ラジオ用のフォルダ)	55
カレンダーから録音した日付を選んで再生する	57
マイクで録音したファイルを再生する	59
ファイルを選んで再生する(マイクで録音したファイルのフォルダ)	59

ポータブルラジオレコーダーに転送したポッドキャストファイルまたは音楽ファイルを再生する	61
---	----

ファイルを選んで再生する (ポッドキャストファイルまたは音楽ファイルのフォルダ)	61
いろいろな再生設定	63
より便利な再生方法	63
再生モードを設定する	64
再生速度を調節する – DPC (Digital Pitch Control)	65
音質を切り換える(エフェクト)	66
録音を書き起こす(書き起こし用再生)	67

■ 編集する

ファイルを消去する	68
フォルダの中身を一度に消去する	69
ファイルを別のフォルダに移動する	70
ファイルをコピーする	71
トラックマークを使う	72
トラックマークを付ける	72
自動でトラックマークを付ける	72
トラックマークを消去する	73
すべてのトラックマークを消去する	74
ファイルを分割する	75
現在位置で分割する	75
すべてのトラックマーク位置で分割する	76
ファイルを保護する	77

■ 設定を変更する

各種設定メニューの使いかた	78
メニューを使って時計を合わせる	78
メニューを使って操作音を設定する	79
メニューを使って現在いる地域を設定するには	79
メニューを使って時刻補正を設定するには	80
各種設定項目一覧	81
共通設定項目詳細	81
オプションメニュー項目一覧	84

■ パソコンを活用する

パソコンにつないで使う	85
ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する	85
フォルダとファイルの構成	85
ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取り外す	88
必要なシステム構成	88

■ その他

困ったときは	89
症状から調べる	90
ポータブルラジオレコーダーのリストアについて	90
こんなときは(ポータブルラジオレコーダー)	90
こんなときは(Sound Organizer)	96
メッセージ表示一覧	97
システム上の制約	100
サポートホームページで調べる	101
ヘルプガイドで調べる	101
保証書とアフターサービス	101
保証書	101
アフターサービス	101
主な仕様	102
ポータブルラジオレコーダーの仕様	102
スピーカークレードルの仕様	103
最大録音時間/再生時間	104
電池の持続時間	104
放送局名一覧	105
表示窓について	113
ホームメニュー操作時の表示窓	113
ラジオ受信時	113
ラジオ録音時	114
停止時	114
録音時	115
再生時	116
フォルダ一覧表示時	117
ファイル一覧表示時	117
オーディオ入力時	117
使用上のご注意	118
著作権と商標について	122
ライセンスについて	122
索引	123
お問い合わせ窓口のご案内	126

準備1：箱の中身を確認する

本体(1)



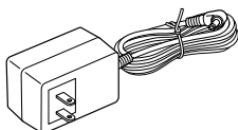
スピーカークリードル(1)



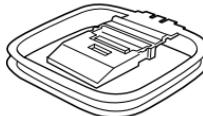
ステレオヘッドホン(1)



ACアダプター(5V)(1)



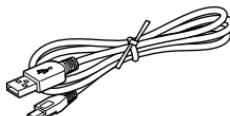
AMラジオ用ループアンテナ(1)



FMラジオ用アンテナケーブル(1)



USBケーブル(1)



パソコンに接続する場合は必ず付属のケーブルを使って、接続してください。

取扱説明書(本書)(1)

かんたんスタートガイド(1)

Sound Organizer (Ver.1.6) (サウンドオーガナイザー)を使う(1)

保証書(1)

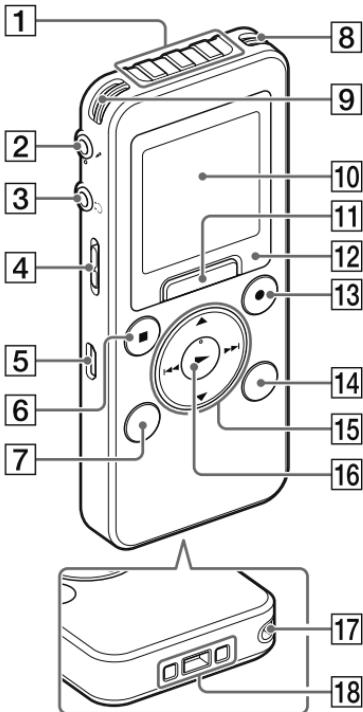
「製品登録」のおすすめ(1)

ポータブルラジオレコーダー本体の内蔵メモリーには、アプリケーションソフトSound Organizerが保存されています。アプリケーションソフトSound Organizerは、パソコンにインストールしてお使いください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ポータブルラジオレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

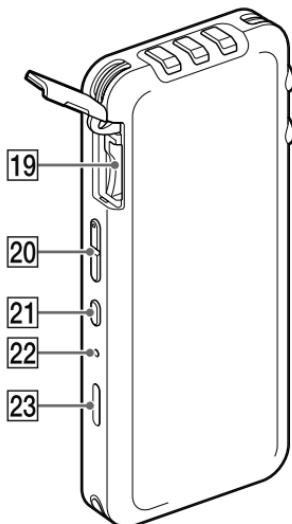
各部のなまえ

本体(表面)



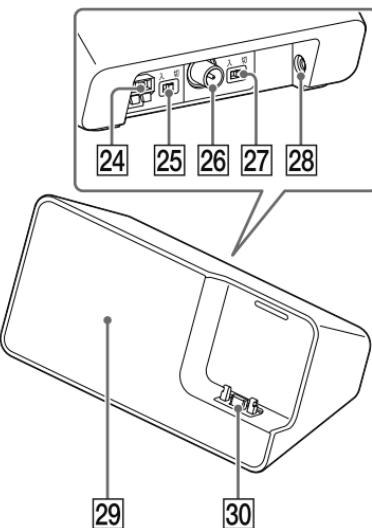
- 【1】お気に入りラジオ局(1、2、3)ボタン
【2】マイクジャック*
【3】ヘッドホンジャック
【4】ホールド・電源スイッチ
【5】USB端子
【6】■停止ボタン
【7】戻る／ホームボタン
【8】内蔵マイク(R)
【9】内蔵マイク(L)
【10】表示窓
【11】予約ボタン
【12】録／再ランプ
【13】●録音／一時停止ボタン
【14】オプション／録音済ファイルボタン
【15】コントロールボタン(▲ DPC(速度調節)、▼◀(リピート)A-B / ▶▶(早戻し)、▶▶(早送り))
【16】▶(再生／決定)ボタン*
【17】ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
【18】クレードル接続端子

本体(裏面)



- 19 microSDメモリーカードスロット
(蓋の中にあります)
- 20 音量ー／＋*ボタン
- 21 トランクマークボタン
- 22 リスタートボタン
- 23 スピーカー

スピーカークレードル



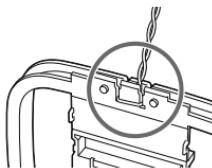
- 24 AM外部アンテナ接続端子
- 25 AM外部アンテナ切り替えスイッチ
- 26 FM外部アンテナ接続端子
- 27 FM外部アンテナ切り替えスイッチ
- 28 DC入力 5V端子
- 29 スピーカー
- 30 本体接続端子

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

準備2：スピーカークレードルを準備する

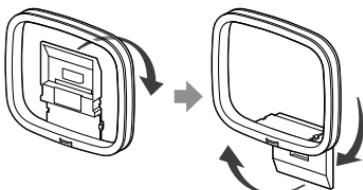
AMアンテナを接続する

- 1** 付属のAMラジオ用ループアンテナに巻かれているアンテナコードをフックから外し、図の位置まで伸ばす。

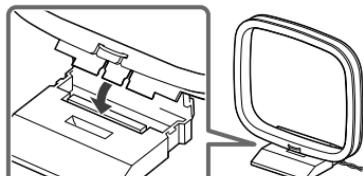


- 2** 下図のように組み立てる。

- ①台座を倒す。
②図の位置で折り曲げて、さらに前方に回転させる。

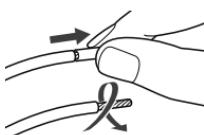


- ③フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。

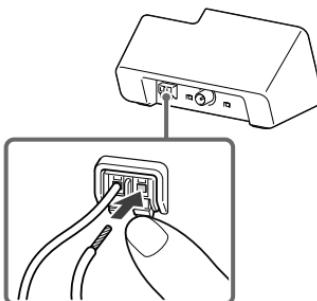


「カチッ」と音がするまで、強く押し込む。

- 3** コード先端部の被覆を取り、接続しやすいように芯線をよじる。

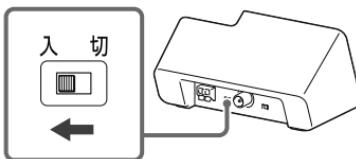


- 4** スピーカークレードルのAM外部アンテナ接続端子のレバーを押しながらアンテナコードの先端を差し込む。



レバーを押して、金属導線部(アンテナコードがむき出しになっている部分)を確実にはさむ。必ず左右の端子を2か所ともはさんでください。

- 5** AM外部アンテナ切り替えスイッチを「入」の位置にスライドする。



※ ヒント

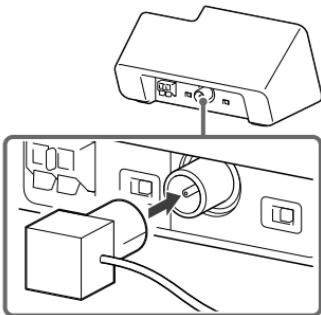
ポータブルラジオレコーダーの本体に内蔵されたアンテナで受信する場合は、AM外部アンテナ切り替えスイッチを「切」の位置に戻してください。

■ ご注意

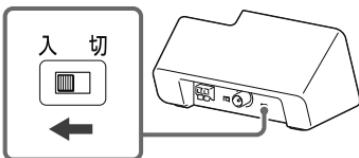
AMラジオ用ループアンテナは、受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。雑音の原因になるため、本体や他のAV機器から離してください。

FMアンテナを接続する

- 1 付属のFMラジオ用アンテナケーブルを、スピーカークレードルのFM外部アンテナ接続端子に接続する。



- 2 FM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」の位置にスライドする。



ヒント

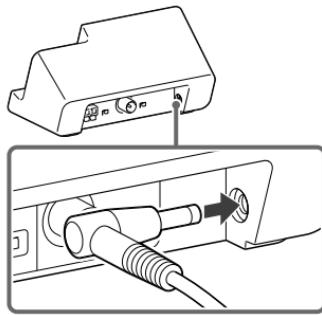
ポータブルラジオレコーダーのヘッドホンコードで受信する場合は、FM外部アンテナ切り換えスイッチを「切」の位置に戻してください。

注意

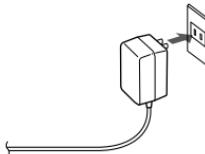
FMラジオ用アンテナは、受信状態の良い場所や方向を探し、長く伸ばしてご使用ください。雑音の原因になるため、本体や他のAV機器から離してください。

ACアダプターを接続する

- 1 ACアダプター（付属）のDCプラグをスピーカークレードルのDC入力5V端子に接続する。



- 2 ACアダプターをコンセントに差し込む。



注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を切ってください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

準備3：充電する

スピーカークレードルで充電する

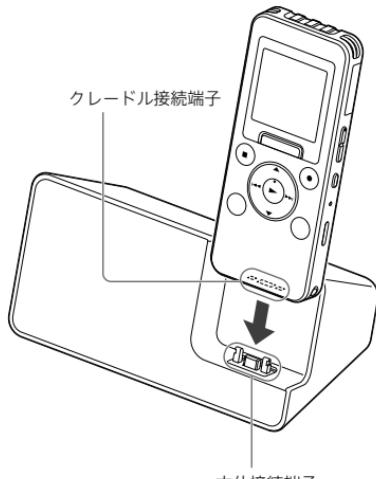
付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを接続し、内蔵充電式電池を充電したり、充電しながらポータブルラジオレコーダーを使用できます。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約2時間30分で充電が完了します。

* 室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、異なる場合があります。

- 付属のACアダプターを接続し、ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子を、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかりと接続する。



充電中は、電池マーク(①)がアニメーション表示されます。

充電をしながらポータブルラジオレコーダーを使うことができます。

2017年 4月15日

10:22 PM

①

充電の目安

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

電池の残量表示

 電池残量が少なくなっています。早く充電してください。

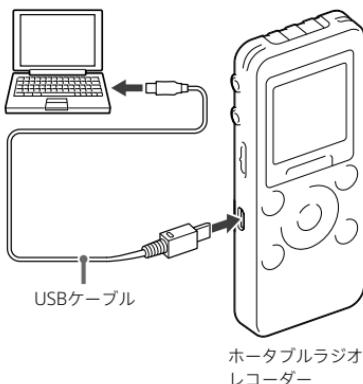
 「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

♪ ヒント

スピーカークレードルに載せたままでも、内蔵充電池の劣化が進行することはありません。

パソコンを使って充電する

付属のUSBケーブルを使って、ポータブルラジオレコーダーのUSB端子と起動しているパソコンのUSBポートをつないでください。

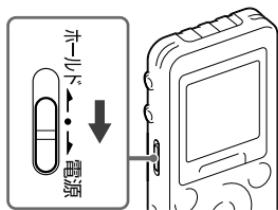


USB ACアダプターで充電する

別売りのUSB ACアダプター(AC-UD20)を使って、ポータブルラジオレコーダーを家庭用電源コンセントにつないで充電することができます。

準備4：電源を入れる

電源を入れる



■ ご注意

- スピーカークレードルから外しているときは、時刻は表示されません。

画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります。

電源を切る

画面に「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

♪ ヒント

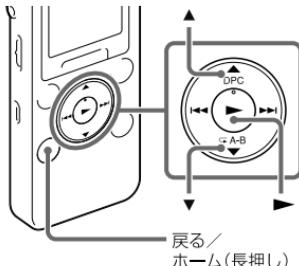
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働き、電源が切れます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。
- 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

現在時刻表示について

ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルに接続しているときは、電源を切ると現在時刻が表示されます。



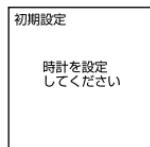
準備5：初期設定をする



お買い上げのあと、初めて電源を入れたときは、次の手順に従って初期設定を行ってください。
時計設定 → 操作音の設定 → 地域設定 → 自動時刻補正の設定

電池を充電後すぐに時計を合わせる

予約機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、ポータブルラジオレコーダーの時計を合わせておく必要があります。
初めて電源を入れたときや時計が設定されていないときは、画面に「時計を設定してください」と表示されますので、初期設定を開始してください。



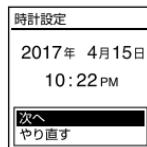
1 年月日と時分を合わせる。

▲または▼を押して、年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。



「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、時計設定確認画面が表示されます。

- 2** ▲または▼を押して「次へ」を選び、▶ボタンを押す。



設定が時計に反映され、「操作音を使用しますか？」と表示されます。
続いて、操作音の設定をしてください。

♪ ヒント

「やり直す」を選んだ場合は手順1に戻ります。

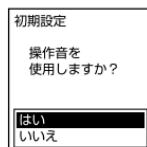
途中で操作を間違えたら

戻る／ホームボタンを押すと、1つ手前の画面に戻ることができます。

操作音を設定する

操作確認音のオン／オフを設定できます。

- 1** ▲または▼を押して「はい」または「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。



設定が完了すると、「ラジオ受信する地域を設定してください」と表示されます。
続いて「現在いる地域を設定する」(16ページ)の手順に従って、地域を設定してください。

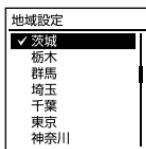
♪ ヒント

- それぞれの手順の間を1分以上あけると、初期設定の中止確認画面が表示されます。その画面で「はい」を選ぶか、さらに1分間放置すると初期設定画面が終了し、ホームメニューが表示されます。「いいえ」を選ぶと、手順1に戻ります。

現在いる地域を設定する

現在いる地域を設定すると、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。お買い上げ時は地域設定されていません。

- 1 「ラジオ受信する地域を設定してください」というメッセージから地域名の表示に変わったら、▲または▼を押して地域を選び、▶ボタンを押す。



地域については「地域一覧」をご覧ください。

地域が設定されると、「時報を利用して自動的に時刻を合わせますか?」と表示されます。

続いて「自動時刻補正を設定する」の手順に従って、自動時刻補正を有効に設定してください。

ヒント

地域が正しく設定されるとAMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されます。

地域一覧

エリア 地域

北海道	北海道(札幌)	北海道(函館)
	北海道(旭川)	北海道(室蘭)
	北海道(釧路)	北海道(帶広)
	北海道(北見)	

東北	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
----	----	----	----	----	----	----

関東	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
	東京	神奈川			

北陸	新潟	富山	石川	福井
----	----	----	----	----

中部	山梨	長野
----	----	----

東海	岐阜	静岡	愛知	三重
----	----	----	----	----

近畿	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良
	和歌山				

中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口
----	----	----	----	----	----

四国	徳島	香川	愛媛	高知
----	----	----	----	----

九州	福岡	北九州	佐賀	長崎	熊本
	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	

各地域設定で登録される放送局名については、「放送局名一覧」(105 ページ)をご覧ください。

ワイドFM (FM補完放送)を受信する

ワイドFM (FM補完放送)を受信したい場合は、地域設定で受信したい地域を選び、登録されている放送局を選んでください。

登録されていない放送局を選ぶ場合は、マニュアルスキャンまたはオートスキャンで選局してください(27 ページ)。

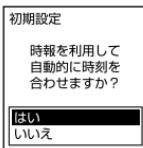
ヒント

ワイドFM (FM補完放送)とは、AM (中波)の放送区域での難聴対策や災害対策のために、FM (超短波)の周波数を利用して放送されるAM放送です。AMラジオの番組をFM放送の周波数で聴けるため、ビルやマンションなどのAM放送が入りづらい場所でも、クリアな音質でAMラジオの番組を楽しめます。

自動時刻補正を設定する

自動時刻補正を有効にすると、NHK第1放送またはNHK第2放送の時報に合わせて、自動的に時刻が補正されます。

- ▲または▼を押して「はい」を選び、
▶ボタンを押す。



メッセージが表示され、自動時刻補正機能が有効に設定され、初期設定が終了します。設定が完了するとホームメニューが表示されます。

ヒント

「いいえ」を選んだ場合でも、初期設定は終了します。

後から設定を変更したいときは、「メニューを使って時刻補正を設定するには」(80 ページ)をご覧ください。

自動時刻補正のしくみ

ポータブルラジオレコーダーでは、午前0時、午前8時、午後4時の1日3回、およびそれぞれの時刻の1時間前に時刻確認を行います。この両方で電源が切られた状態で、AMラジオのP01に登録されたNHK放送の時報を自動的に検出し、時刻の補正を行います。

時刻補正を行うためには以下の条件を満たしている必要があります。

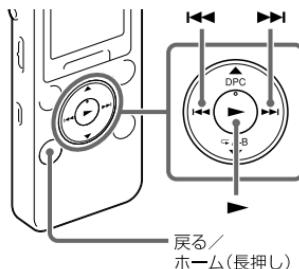
- ・時計が設定されている。
- ・ポータブルラジオレコーダーの設定時刻と時報の時刻の差が3分以内に設定されている。
- ・地域が正しく設定されている。(AMラジオのプリセット番号P01に時報を放送するNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されている。)
- ・時刻補正メニューの設定が「自動時刻補正」になっている。
- ・時刻補正を行う定刻の前後3分間、事前確認を行う定刻の1時間前の前後3分間に電源を切っている。

ご注意

- ・以下の場合は、自動時刻補正ができません。
 - AMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されていない場合
 - ラジオの受信状態が悪い場合
 - 予約録音動作中の場合
 - 設定された時刻が3分以上ずれていて、処理中に時報音が検出できない場合
- ・自動時刻補正中にホールド・電源スイッチをスライドさせた場合、放送を切り換えた場合、またはラジオの周波数を変更した場合は、自動時刻補正是停止します。

準備6：お使いになる前に – 基本操作の確認

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ



ポータブルラジオレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更することができます。

- 1 戻る／ホームボタンを長押しする。
ホームメニューが表示されます。



ホームメニューは下記のように並んでいます。



- 2 ◀◀ または ▶▶ を押して使いたい機能を選び、▶ ボタンを押す。

① ポッドキャスト パソコンから転送したポッドキャストファイルを選んで、再生できます。

② ミュージック パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。

③ 録音したファイル ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。

④ AMラジオ AMラジオ画面を表示して、AMラジオを聞いたり、録音したりできます。

⑤ FMラジオ FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりできます。

⑥ マイク録音 外部マイクや内蔵マイクでの録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。

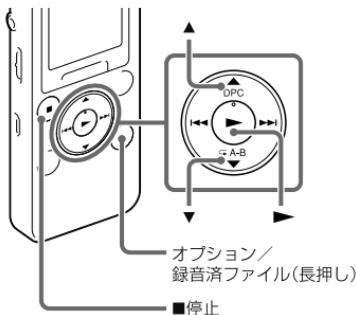
⑦ オーディオ入力 ◉ (マイク)ジャックにつないだ外部機器からの録音、再生画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。

⑧ 各種設定 各種設定メニューを表示して、ポータブルラジオレコーダーのさまざまな設定ができます。

⑨ XX画面へ* ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

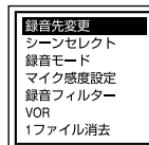
オプションメニューで設定する



オプション／録音済ファイルボタンを押すと、ポータブルラジオレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

1 ホームメニューで機能を選んだあと、オプション／録音済ファイルボタンを押す。

使用している機能のオプションメニューが表示されます。



2 ▲または▼を押して設定したい項目を選び、▶ボタンを押す。



ヒント

現在選ばれている項目にはチェックマークが付いています。

3 ▲または▼を押して設定内容を選び、▶ボタンを押す。

ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、自動で元の画面に戻ります。

ヒント

■停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

フォルダとファイルについて

ポータブルラジオレコーダー上で見える フォルダとファイルの構成

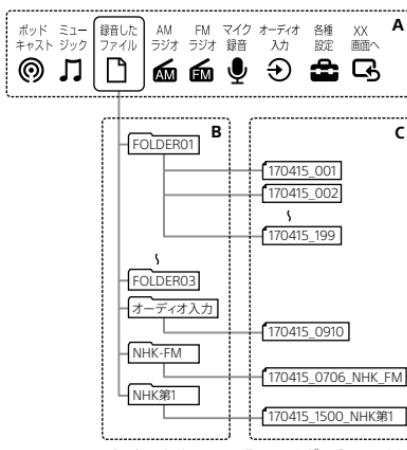
「録音したファイル」の場合

ポータブルラジオレコーダーで録音した音声ファイルは、下記のフォルダに保存されます。

- ・マイク録音したファイルは、「FOLDER01」～「FOLDER03」に保存されます。
- ・（マイク）ジャックにつないだ外部機器から録音したファイルは、「オーディオ入力」に保存されます。
- ・ラジオ放送を録音したファイルは、「録音したファイル」に放送局名のフォルダが自動的に作成されて保存されます。

録音予約の自動分類と同様に放送局名や周波数を含んだフォルダ名になります。

すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。



♪ ヒント

ポータブルラジオレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音の場合は、あらかじめ設定を変更してください。変更のしかたについて、詳しくは取扱説明書の「準備する」の「準備6：お使いになる前に－基本操作の確認」中の「メモリーを切り換える」をご覧ください。

スピーカークレードルを使う

スピーカークレードルに載せる

付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーをセットすると、ラジオ放送や音声ファイルをスピーカークレードルのスピーカーから出力することができます。

スピーカークレードルからの音量は、ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルにセットした状態で調節することができます。この時の音量設定は、ポータブルラジオレコーダーのみで設定した音量設定とは異なります。

♪ ヒント

スピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを載せておくと、電源オフ時は現在時刻を表示します。(載せたままで、内蔵充電池の劣化が進行することはありません。)

■ ご注意

スピーカークレードルを使うときは、付属のACアダプターを接続し(12ページ)、ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子が、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかりと接続するように設置してください。

また、ラジオを聞くときや再生を楽しむときの使用方法は以下のページをご覧ください。

ラジオを聞くとき：

「スピーカークレードルに載せて使うときは」
(24ページ)

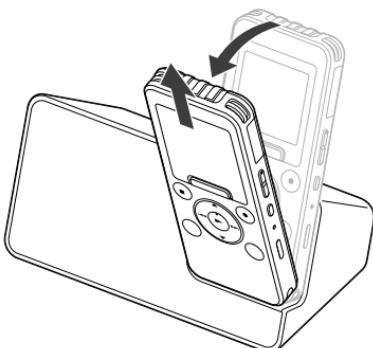
その他の再生を楽しむとき：

「スピーカークレードルで聞く」(63ページ)



スピーカークレードルから取り外す

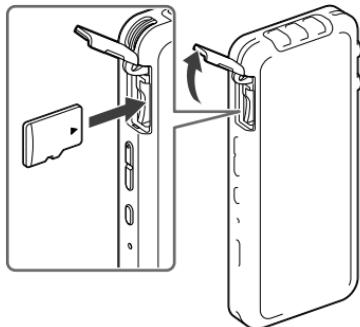
ポータブルラジオレコーダーを手前に傾けるようにして取り外してください。



メモリーカードを入れる

ポータブルラジオレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売のmicroSDカードへ音声を保存することができます。

- 停止中に、microSDカードをメモリーカードスロットにカチッと音がするまでしっかり差し込む。
microSDカードの端子面が本体手前になるように、図の方向に差し込んでください。



2 スロット蓋を閉める。

「メモリーカードに切り替えますか？」と表示されます。

■ ご注意

電源が入っていないときに操作をした場合は、メッセージが表示されません。電源を入れてから、ホームメニュー→「(各種設定)」→「共通設定」→「メモリー切り換え」を選んで、使用するメモリーを選んでください(82ページ)。

- ▲または▼を押して、「はい」または「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。

ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード

このポータブルラジオレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いになれます。
microSDHCカード(4 GB ~ 32 GB)

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ポータブルラジオレコーダーサポート・お問い合わせページ
<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>をご覧ください。

メモリーカードに記録／再生できるファイルのサイズはポータブルラジオレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC LCは1 GB未満です。

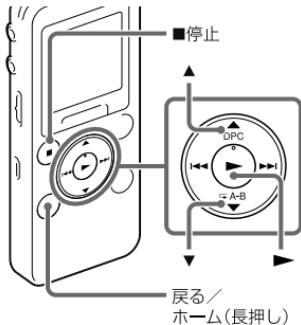
■ ご注意

- microSDXCカードはご使用になれません。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ポータブルラジオレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください(82ページ)。

メモリーカードを取り出すには

録音や再生が停止していることを確認し、メモリーカードを一度奥に押します。手前に出たら、メモリーカードスロットから取り出します。

メモリーを切り換える



ポータブルラジオレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売りのmicroSDカードを使ってファイルを録音、再生、編集できます。

メモリーは次の手順で切り替えます。

1 ホームメニュー→「 (各種設定)」→「共通設定」→「メモリー切り換え」を選び、▶ボタンを押して決定する。

2 ▲または▼を押して、「内蔵メモリー」または「メモリーカード」を選び、▶ボタンを押す。

3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ ご注意

- メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

♪ ヒント

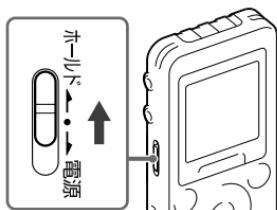
- メモリーカードを初期化していない場合は、「メモリー切り換え」でメモリーを切り換えたあとで、ホームメニュー→「 (各種設定)」→「共通設定」→「メモリー初期化」を選びます。
- 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

誤操作を防止する(ホールド)

ポータブルラジオレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にできます(ホールド)。

ボタン操作をできなくするには

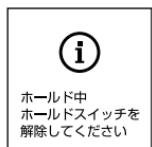
電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。



「ホールド」と約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

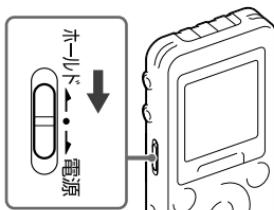


ホールドになっているときにボタン操作をすると、「ホールド中 ホールドスイッチを解除してください」と表示されます。



ボタン操作ができるようにするには

ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。



ラジオを聞く

1

ラジオのアンテナを確認する。

ラジオを受信するときは、使用方法にあわせてアンテナを確認してください。

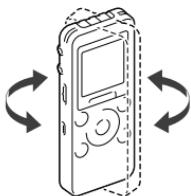
ポータブルラジオレコーダーを持ち歩きながら使うときは

FMラジオ受信時

付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、□(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお聞きください。

AMラジオ受信時

アンテナが内蔵されているので、ポータブルラジオレコーダーの向きによって受信状態が変わります。ポータブルラジオレコーダーをもっともよく受信できる向きにしてお聞きください。



スピーカークレードルに載せて使うときは

FMラジオ受信時

スピーカークレードルに接続した付属のFMラジオ用アンテナケーブルを長く伸ばしてお聞きください。このとき、スピーカークレードルのFM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。詳しくは「FMアンテナを接続する」(12ページ)をご覧ください。

AMラジオ受信時

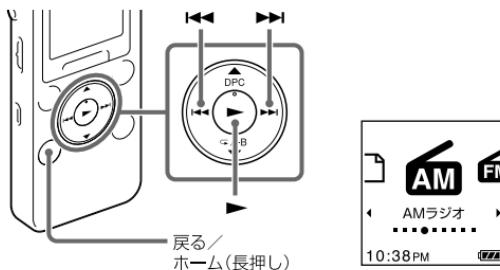
スピーカークレードルに接続した付属のAMラジオ用ループアンテナを、もっともよく受信できる向きにしてお聞きください。このとき、スピーカークレードルのAM外部アンテナ切り替えスイッチが「入」になっていることを確認してください。詳しくは「AMアンテナを接続する」(11ページ)をご覧ください。

※ヒント

雑音(ノイズ)の少ないラジオ受信のしかたについて詳しくは、付属の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。

2

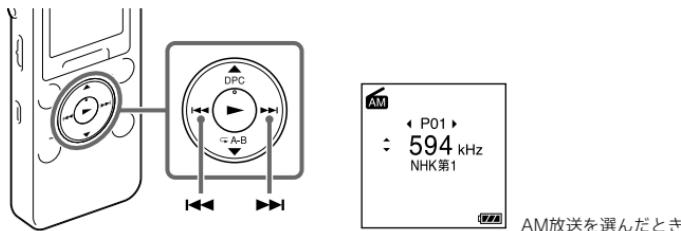
ホームメニュー → 「AM (AMラジオ)」または「FM (FMラジオ)」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



AMラジオまたはFMラジオモードに入ります。

3

◀◀ または ▶▶ を繰り返し押して、プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)。

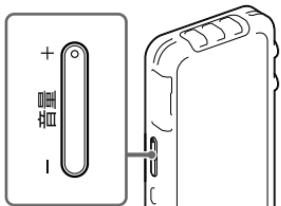


お好みの放送局のプリセット (P) 番号が表示されるまで、◀◀ または ▶▶ を繰り返し押してください。

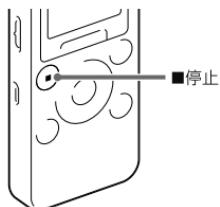
※ヒント

- 詳しくは「現在いる地域を設定する」(16ページ)をご覧ください。
- 初期設定で地域を設定していないかったり、プリセット登録をしなおしたりするときは、「ラジオ放送局をプリセット登録する」(30ページ)をご覧ください。

4 音量ー／＋ボタンを押して、音量を調節する。



5 ラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。



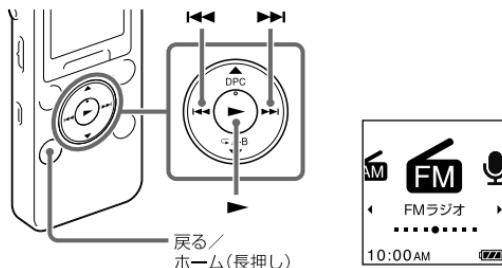
♪ ヒント

- ・ポータブルラジオレコーダーのお気に入りラジオ局ボタンにお好みの放送局を登録することができます。詳しくは「お気に入りラジオ局を登録する」(28ページ)をご覧ください。
- ・周波数で選局して聞くこともできます。詳しくは「放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)」(27ページ)をご覧ください。

放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)

1

ホームメニュー → 「AM (AMラジオ)」または「FM (FMラジオ)」を選び、▶ボタンを押して決定する。

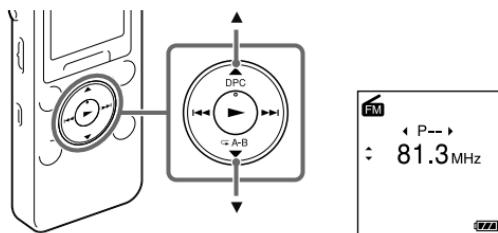


ラジオを聞く

AMラジオまたはFMラジオモードに入ります。

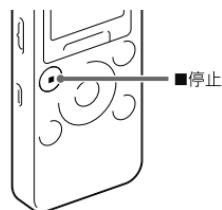
2

▲または▼を繰り返し押して選局する。



3

ラジオを止めるには■停止ボタンを押す。



オートスキャン選局するには

手順2で、▲または▼を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキヤンし、放送を受信すると自動的に停止します。

放送を受信できない場合は、▲または▼を1回ずつ繰り返し押してください。

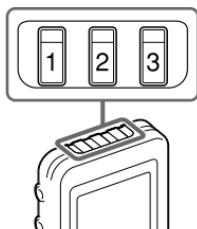
お気に入りラジオ局を使う

よく聞く放送局はお気に入りラジオ局ボタンに登録すると、ワンタッチで選局することができ便利です(29ページ)。3つのお気に入りラジオ局ボタンにそれぞれ1つずつ放送局を登録できます。

お気に入りラジオ局を登録する

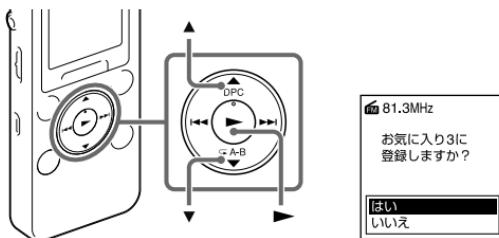
1 「ラジオを聞く」(24ページ)の手順に従って、登録したい放送局を選局する。

2 登録先のお気に入りラジオ局ボタン(1～3)を1秒以上押したままにする。



バンドと周波数、および「お気に入り1（または2、3）に登録しますか？」が表示されます。

3 ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。



お気に入りラジオ局ボタンに放送局が登録されます。登録をやめるには、▲または▼を押して「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

♪ ヒント

お気に入りラジオ局は、オプションメニューから登録することもできます。次の手順で登録してください。

①「ラジオを聞く」(24ページ)の手順に従って、登録したい放送局を選局する。

② オプションメニュー → 「お気に入りに登録」を選び、▶ボタンを押す。

登録先選択画面が表示されます。

③ ▲または▼を押して、登録したいラジオ局ボタン(1～3)を選び、▶ボタンを押す。

バンドと周波数、および「お気に入り1(または2、3)に登録しますか?」が表示されます。

④ ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

■ ご注意

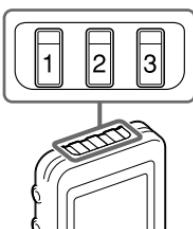
- お気に入りラジオ局ボタンに登録できるのは、AM、FMあわせて3つの局のみです。
- すでに放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタンを登録先にした場合は、あとから選んだ放送局で上書き登録されます。
- お気に入りラジオ局ボタンに登録した放送局は、別の放送局に上書き登録できますが、削除することはできません。
- 約1分間操作しないと、登録実行画面は消え、ラジオ受信画面に戻ります。

お気に入りラジオ局を聞く

「お気に入りラジオ局を登録する」(28ページ)で登録した放送局をワンタッチで選局して聞くことができます。

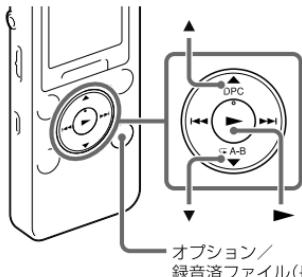
1

聞きたい放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタン(1～3)を押す。



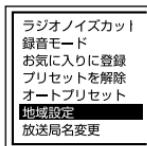
ラジオ放送局をプリセット登録する

地域を設定して放送局を自動登録する



お買い上げ後の初期設定で地域設定をすると、地域に応じたラジオの放送局が自動で登録されます。
地域を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「地域設定」を選び、▶ボタンを押す。



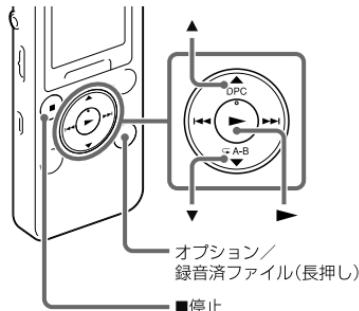
- 2 ▲または▼を押して地域を選び、▶ボタンを押す。

「プリセットが上書きされます 実行しますか？」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

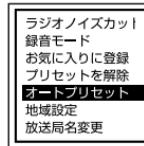
選んだ地域に応じたAMとFMラジオの放送局を自動でプリセットに登録します。

自動でプリセット登録する(オートプリセット)



ラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録することができます。AM、FMそれぞれ最大30件まで登録することができます。

- 1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「オートプリセット」を選び、▶ボタンを押す。



「プリセットが上書きされます 実行しますか？」と表示されます。

- 2 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。登録するのは、現在受信中のバンド(AMまたはFM)のみです。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

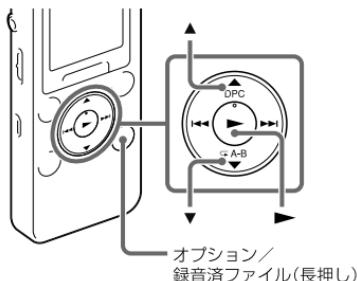
オートプリセットを途中で止めるには

■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。

■ ご注意

オートプリセットを実行すると、地域設定(16ページ)でプリセット登録された放送局が消去されます。オートプリセットで登録された周波数が地域設定の周波数と一致した場合は、放送局名も自動的に設定されます。

手動でプリセット登録する



登録されていないラジオ放送局をプリセット登録することができます。ポータブルラジオレコーダーに登録されていない中継局を登録する場合などに、この方法でプリセット登録してください。AM、FMそれぞれ最大30件まで登録することができます。

1 「放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)」(27ページ)の手順1、2で、プリセット登録したい放送局を選局する。

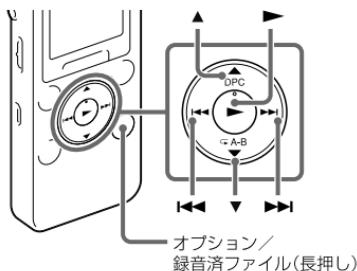
選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

2 放送局受信中にオプションメニュー→「プリセットに登録」を選び、▶ボタンを押す。



放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を消去する



1 「ラジオを聞く」の手順3 (25ページ)で、◀◀または▶▶を押して登録を消去したい放送局のプリセット番号を表示する。

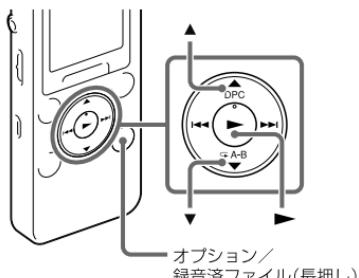
2 放送局受信中にオプションメニュー→「プリセットを解除」を選び、▶ボタンを押す。

プリセット番号が「P--」へ変わります。

■ ご注意

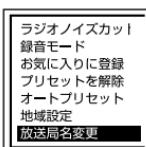
自動時刻補正は、AMラジオのP01にプリセット登録されたNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用するために、P01のプリセット登録を消去すると、自動時刻補正ができなくなります。自動時刻補正機能をお使いの場合は、時報を受信するAMラジオのP01のプリセット登録は消さないようにしてください。

放送局名を変更する(放送局名変更)



受信中のプリセットされた放送局に、放送局名を選んで割り当てるることができます。選んだ放送局名は、ラジオの受信画面などに表示されます。ポータブルラジオレコーダーにあらかじめ登録されている放送局(105ページ)の中継局(同地域で同じ放送をしている放送局)に放送局名を割り当てる場合などにご使用ください。

- 1 ラジオ受信中にオプションメニュー→「放送局名変更」を選び、▶ボタンを押す。



- 2 ▲または▼を押して放送局名を選び、▶ボタンを押す。



■ ご注意

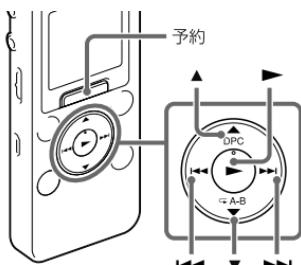
- 「設定なし」を選択すると、放送局名は登録されません。

■ ご注意

- 地域設定(16ページ)されていない場合は、放送局名の変更はできません。
- プリセットされていない周波数に対しては、放送局名の変更はできません。

タイマーを使う

オンタイマーを使う

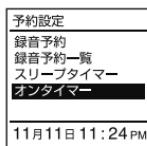


あらかじめ設定した時刻にラジオの受信やファイルの再生ができます。

特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に受信や再生するように設定できます。設定できるオンタイマーは1件です。

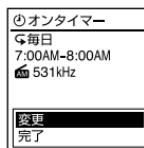
1 予約ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「オンタイマー」を選び、▶ボタンを押す。



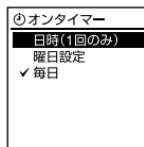
3 ▲または▼を押して「オン」を選び、▶ボタンを押す。

4 ▲または▼を押して「変更」を選び、▶ボタンを押す。



「完了」を選び、▶ボタンを押すと、設定内容を編集せずにオンタイマーの設定を完了します。

5 オンタイマーの日時、時刻を設定する。



①▲または▼を押して、「日時(1回のみ)」、「曜日設定」、または「毎日」を選び、▶ボタンを押す。

②「日時(1回のみ)」を選んだ場合：

年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、▶ボタンを押します。

「曜日設定」を選んだ場合：

▲/▼/◀/▶で好みの曜日を選び、

▶ボタンを押します。選んだ曜日に

チェックマークが付いたら、▼で「次へ」を選んで▶ボタンを押します。次に開始時刻および終了時刻を設定し、▶ボタンを押します。

「毎日」を選んだ場合：

開始時刻および終了時刻を設定し、▶ボタンを押します。

6 オンタイマーの音源を選ぶ。



①▲または▼を押して、「AM」、「FM」または「ファイル再生」を選び、▶ボタンを押す。

②「AM」または「FM」を選んだ場合：

▲または▼を押して放送局を選び、
▶ボタンを押します。

「ファイル再生」を選んだ場合：

再生したいファイルが保存されているメモリーを選び、▶ボタンを押します。次に、「録音したファイル」、「ミュージック」、「ポッドキャスト」のいずれかを選び、
▶ボタンを押します。続いて、フォルダ一覧からフォルダ、ファイル一覧から再生したいファイルを選び、▶ボタンを押します。

■ ご注意

- ・プリセット登録していない放送局は、オンタイマーを設定できません。オンタイマーを設定する前に放送局をプリセット登録してください(30ページ)。
- ・オンタイマーを設定したい放送局が受信できることを、あらかじめ確認してください。
- ・オンタイマーは1件のみ設定できます。
- ・電源を切っていても、オンタイマーは実行されます。
- ・時計を合わせていない場合は、オンタイマーは実行できません。
- ・データ更新中にオンタイマーの開始時刻になった場合は、オンタイマーの設定が自動的に破棄されます。
- ・オンタイマーを設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみオンタイマーが設定されます。
- ・オンタイマーを設定したファイルを消去すると、開始時刻になつてもファイル再生は実行されません。
- ・録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

7 予約確認画面で▲または▼を押して「完了」を選び、▶ボタンを押す。 「①」が表示されて、オンタイマーが設定されます。

設定内容を変更するには

1～7の手順を繰り返します。

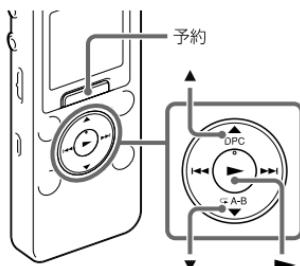
設定内容を解除するには

手順3で「オフ」を選び、▶ボタンを押します。オンタイマーが解除され、表示窓のオンタイマー表示が消えます。

オンタイマーによるラジオ受信／ファイル再生を止めるには

ポータブルラジオレコーダーのいずれかのボタンを押すと停止します。

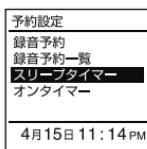
スリープタイマーを使う



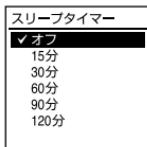
一定の時間が経過したあとに、自動的にポータブルラジオレコーダーの電源が切れるよう設定できます。

1 予約ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「スリープタイマー」を選び、▶ボタンを押す。



3 ▲または▼を押して電源が切れるまでの時間を選び、▶ボタンを押す。



スリープタイマーが設定されます。
すでに設定されているスリープタイマーが作動中の場合は、電源が切れるまでの残り時間が一番上に「残り〇〇分」として表示されます。作動中のスリープタイマーを継続させる場合は、「継続」を選んで▶ボタンを押します。

スリープタイマーを解除するには

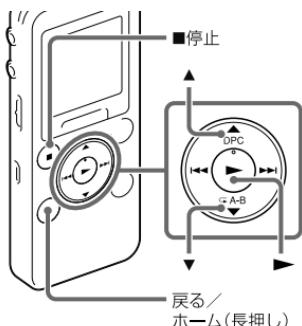
手順3で「オフ」を選びます。

■ ご注意

スリープタイマー作動中に予約録音が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れてしまうことがあります。録音は継続されます。

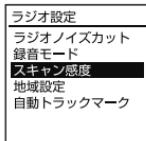
ラジオの設定を変更する

スキャン感度を設定するには



プリセット時のスキャン感度を設定できます。

- 1 ホームメニュー → 「■ (各種設定)」 → 「ラジオ設定」 → 「スキャン感度」を選び、▶ボタンを押す。



- 2 ▲または▼を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、▶ボタンを押す。

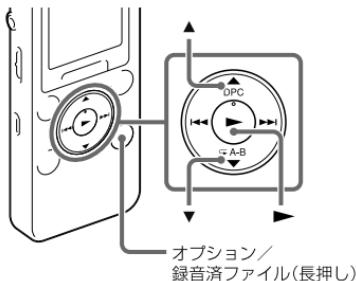


お買い上げ時は、「高(SCAN H)」設定になっています。ノイズなどが登録されてしまう場合は、設定を「低(SCAN L)」に変更して再度プリセットをお試しください。

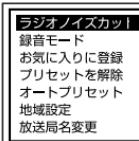
- 3 ■停止ボタンを押して、設定を終了する。

ラジオノイズカットを使用する

電波が弱く、雑音が気になるときはラジオノイズカット機能をお使いください。



- 1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「ラジオノイズカット」を選び、▶ボタンを押す。



- 2 ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。

■ご注意

ラジオノイズカット機能は、ラジオ受信時、ラジオ録音時にのみ働きます。

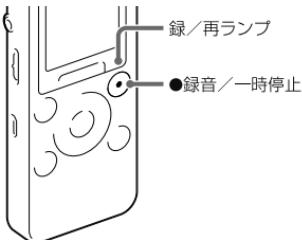
受信中のラジオを録音する

■ ご注意

- ・録音中に予約録音開始時刻になった場合は、予約録音が優先されます。
- ・録音を始める前に、必ず電池残量表示(13ページ)および受信環境、録音可能時間などを確認してください。

1 「ラジオを聞く」(24ページ)の手順に従って、録音したい放送局を選ぶ。

2 ●録音／一時停止ボタンを押す。



録音が始まり、録／再ランプが赤色に点灯します。

保存先メモリーに多くのファイルが保存されている場合、アクセスに時間がかかり、すぐに録音が始まらない場合があります。

■ ご注意

- ・録音中は放送局を変更できません。
- ・ラジオ放送は、LPCMで録音できません。

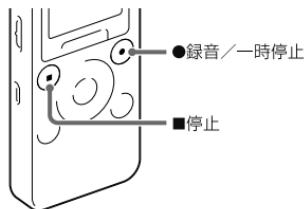
♪ ヒント

ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様にフォルダ名を放送局名や周波数で作成します(19ページ)。すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。

録音を止めるには

1 ■ 停止ボタンを押す。

録音中に● 録音／一時停止ボタンを押すと、録音を一時停止できます。



アクセス中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。この表示が出ている間は、ACアダプターやメモリーカードを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*

● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音一時停止中は録／再ランプが赤色に点滅し、(録音一時停止)表示と録音経過時間表示が点滅します。

録音一時停止を解除する

もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。)

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

♪ ヒント

- ひとつのフォルダには最大199のファイルが録音できます。
- Sound Organizerを使うと、フォルダを消去することができます。詳しくは、「Sound Organizer (Ver.1.6) (サウンドオーガナイザー)を使う」(別冊)をご覧ください。

ラジオを予約して録音する

録音予約する前にお読みください

録音予約を始める前に

- 録音予約を始める前に、受信環境や電池残量、録音可能時間などをご確認ください。
- 予約録音の開始時刻約1分前になると録音準備状態となり、録音予約を設定した放送局や外部入力から切り換えることができなくなります。
- メモリーの残量が十分あることをご確認ください。予約録音の途中でメモリーがいっぱいになると、録音が停止します。

録音予約について

- 録音予約できる件数は20件までです。
- 録音予約する場合、1件で23時間59分(最大連続録音時間)を超える設定の予約はできません。
- 内蔵メモリーおよびメモリーカードへの最大録音時間について詳しくは104ページをご覧ください。
- 電源を切っていても、予約録音は実行されます。
- ポータブルラジオレコーダーの時計が正しく設定されていない場合は、予約録音が正確な時刻に実行されません。
- 前の予約録音終了時刻と次の予約録音開始時刻が同じ場合、前の予約録音の終了間際(約5秒間)は録音されません。**
- 録音中は受信バンド、外部入力や放送局を変更することはできません。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。
- プリセット登録していない放送局は、録音予約できません。録音予約をする前に放送局をプリセット登録してください(30ページ)。

制限事項について

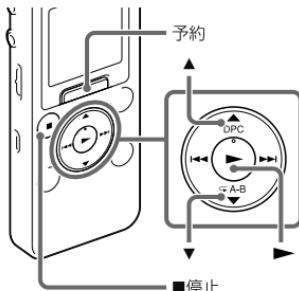
- 以下の場合は録音ができない、録音が途中で終了する、または録音が正しく行われないことがあります。
 - 電波の受信状況が良くないとき
 - 電波の受信ができないとき

- ポータブルラジオレコーダーの電池残量が少ないとき
- ポータブルラジオレコーダーの録音可能時間が少ないとき
- 日付と時刻が正しく設定されていないとき
- パソコンと接続中のとき
- 保存先をメモリーカードに設定していて、メモリーカードがポータブルラジオレコーダーに挿入されていない、またはメモリーの残量が少ないとき
- 録音先のフォルダにファイルが199件以上保存されているとき

録音予約の実行について

- 予約開始の約1分前から予約実行の準備を開始します。予約準備中に停止ボタンを押すと予約の実行を止めることができます。
- 電源が切れている状態で予約録音が開始すると画面に何も表示されませんが、録音は実行されます。録音を開始すると録／再ランプが赤に点灯します。
- 予約録音が実行されている状態でも電源のオン／オフができますが、予約録音は継続します。
- 録音予約の実行を途中で止めたい場合は、停止ボタンを押します。録音中止の確認画面が表示されます。
- マイクでの録音中や受信中のラジオを録音中に予約録音の開始時刻になった場合は、実行中の録音を停止し、予約録音を開始します。

予約して録音する



あらかじめ設定した時刻にラジオ番組やオーディオ入力の録音予約ができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に録音したりするよう設定できます。
設定できる録音予約は20件までです。
なお、ラジオ受信中やオーディオ入力再生中でも、録音予約ができます。

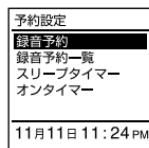
1 録音予約する放送局が受信できることを確認する。

ヒント

実際に予約録音を行う場所で、正しく受信できることをあらかじめご確認ください。受信できない場合は、「ラジオを聞く」(24ページ)の手順を試してください。

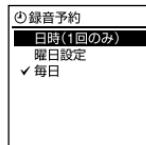
2 予約ボタンを押す。

3 ▲または▼を押して「録音予約」を選び、►ボタンを押す。



4 録音予約したい日時、時刻を設定する。

- ①▲または▼を押して、「日時(1回のみ)」、「毎日」、または「曜日設定」を選び、►ボタンを押す。



②「日時(1回のみ)」を選んだ場合：

- ▲または▼で年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、►ボタンを押します。

「曜日設定」を選んだ場合：

- ▼/▲/◀/▶と►ボタンでお好みの曜日をチェックしたあと、「次へ」を選び、►ボタンを押して時刻設定画面に進みます。▲または▼で開始時刻および終了時刻を設定し、►ボタンを押します。

「毎日」を選んだ場合：

- ▲または▼で開始時刻および終了時刻を設定し、►ボタンを押します。

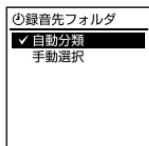
5 録音予約したい音源を選ぶ。



- ①▲または▼を押して、「AM」「FM」または「オーディオ入力」を選び、►ボタンを押す。

- ②▲または▼を押してお好みの放送局を選び、►ボタンを押す。

6 録音先フォルダの選択方法を選ぶ。



①▲または▼を押して、「自動分類」または「手動選択」を選び、▶ボタンを押す。

②「自動分類」を選んだ場合：

手順7の録音モード選択に進みます。

「手動選択」を選んだ場合：

▲または▼を押して保存先のフォルダを選び、▶ボタンを押します。

♪ヒント

「自動分類」を選ぶと、放送局名が設定されている場合は放送局名でフォルダが作成されます。放送局名が設定されていない場合は周波数でフォルダを作成します。

7 ▲または▼を押して録音モードを選び、▶ボタンを押す。



録音モードについて詳しくは47ページをご覧ください。

予約確認画面が表示されます。

8 ▲または▼を押して「完了」を選び、▶ボタンを押す。

メッセージが表示され、元の画面に戻ります。

終了すると「④」が表示されて、録音予約が設定されます。

設定した開始時刻が現在時刻を過ぎていた場合、予約設定終了後すぐに録音が開始します。

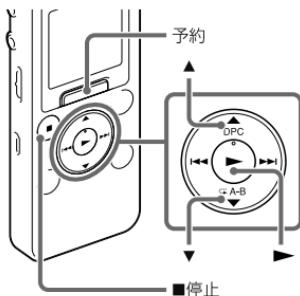
■ご注意

- スリープタイマー作動中に予約録音が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れたようになりますが、録音は継続されます。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

録音予約の設定を途中でキャンセルするには

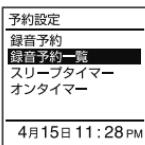
- 停止ボタンまたは予約ボタンを押し、▲または▼を押して「はい」を選んで、▶ボタンを押します。

予約を確認する



1 予約ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「録音予約一覧」を選び、▶ボタンを押す。



設定されている録音予約の一覧が表示されます。

3 ▲または▼を押して詳細を確認したい録音予約を選び、▶ボタンを押す。

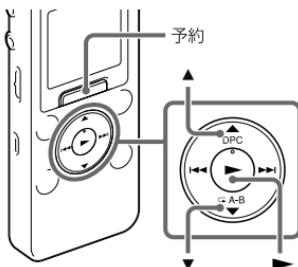


予約の詳細が表示されます。

4 予約ボタンを押して、予約メニューを終了する。

■ 停止ボタンを押しても予約メニューを終了できます。

予約を変更する



1 「予約を確認する」の手順3の次に、▲または▼を押して「変更」を選び、▶ボタンを押す。

予約した日時、バンド情報や放送局、フォルダ名などが表示されます。

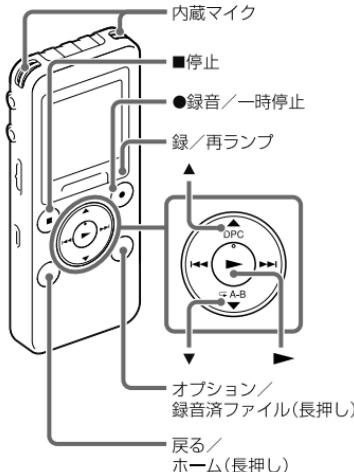


2 「予約して録音する」(40ページ)の手順4から8をくり返す。

予約を削除するには

手順1で「削除」を選び、▶ボタンを押し、▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押します。

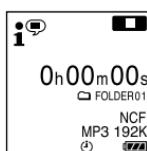
マイク録音を始める



ヒント

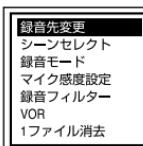
録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（44ページ）をしながら録音することをおすすめします。

- 1 ホームメニュー → 「マイク録音」を選び、▶ボタンを押して決定する。
録音停止画面が表示されます。



- 2 録音したいフォルダを選ぶ。

- ① オプションメニュー → 「録音先変更」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- ② ▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを押す。



お買い上げ時には、「FOLDER01」が選択されています。

- 3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 4 停止中に ●録音／一時停止ボタンを押す。

録／再ランプが赤色に点灯します。

新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。

ご注意

録音中、ポータブルラジオレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。

録音を止める

- 1 ■停止ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。

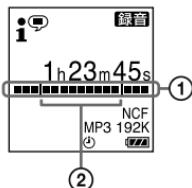
録音停止後に ▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

アクセス中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」と表示されている間は、メモリーへ録音データを記録しています。この表示が出ている間は、スピーカークリードルへの抜き差しをしないでください。データが破損するおそれがあります。

録音レベルガイドについて

録音中は、録音レベルガイド(①)に入力レベルが表示されます。



縦線で囲まれた区間(②)は、入力レベルの適正範囲を表示します。

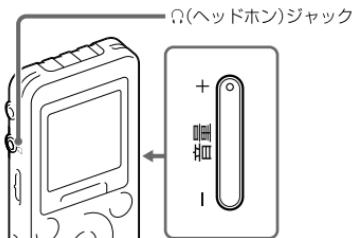


上の図のように、録音中の入力レベルが、縦線で囲まれた区間に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シンセレクトの設定を変更してください。

♪ヒント

入力レベルの縦線で囲まれた区間に表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動するか、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする



付属のステレオヘッドホンを□(ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターできます。

ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量-/+ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

その他の操作

録音を一時停止する*

- 録音／一時停止ボタンを押す。
録音一時停止中は録／再ランプが赤色に点滅し、(録音一時停止)表示が点滅します。

録音一時停止を解除する

- もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
先ほど録音していたファイルに続けて録音できます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するとときは、■ 停止ボタンを押します。)

今録音したば

- ▶ボタンを押す。
かりのファイルを聞く
のはじめから聞くことができます。

早戻し(レビュー)

- 録音中または録音一時停止中に◀◀を長押しする。
録音が解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。◀◀を離すと、離したところから再生が始まります。

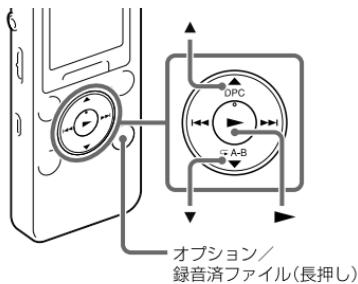
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

♪ヒント

Sound Organizerを使うと、フォルダを新規作成したり、消去できます(「Sound Organizer (Ver.1.6)(サウンドオーガナイザー)を使う」(別冊))。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ



さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード(47ページ)やマイク感度(47ページ)などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(シーンセレクト機能)。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

■ ご注意

登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。

環境に合ったシーンがない場合は、「Myシーン1」や「Myシーン2」をご使用ください。

1 録音停止中にオプションメニュー → 「シーンセレクト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

2 ▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、▶ ボタンを押す。



オフ	シーンセレクト機能をオフにします。
i⑨ (おまかせボイス)*	音声全般を録音するときに適しています。
REC (会議)	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
REC (講演)	講演会や講義を録音するときに適しています。
REC (ボイスメモ)	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
REC (インタビュー)	インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1~2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
REC (歌・音楽)	大人数での合唱練習やカラオケなど比較的大きな音を2~3mくらいの距離で録音するときに適しています。
REC (Myシーン1)	録音モード、内蔵マイク感度などを好みに合わせて編集できます。
REC (Myシーン2)	録音モード、内蔵マイク感度などを好みに合わせて編集できます。

* お買い上げ時の設定

各シーンのお買い上げ時の録音設定について

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは47ページをご覧ください。

	 (おまかせ (会議) ボイス)	 (講演)	 (ボイス メモ)	
録音 モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps
マイク 感度設定	音声用  中 オート	音声用  中	音声用  中	音声用  低
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィ ルター	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)

* お買い上げ時の設定

	 (インタ ビュー)	 (歌・ 音楽)	 (My シーン1)*	 (My シーン2)*
録音モー ド	MP3 128kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク 感度設定	音声用  中	音楽用  低 (音楽)	音声用  中	音声用  中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィ ルター	NCF (Noise Cut)	オフ	オフ	オフ

* お買い上げ時の設定

Myシーンの設定項目をお好みに編集する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

録音停止中に以下の手順を行います。

1 オプション/録音済ファイルボタンを押してオプションメニューを表示し、録音に関する項目を設定する。

設定できるのは以下の項目です。

録音モード/マイク感度設定/録音フィルター/VOR

2 オプションメニュー→「シーンセレクト」→「Myシーン1」または「Myシーン2」を選ぶ。

3 ▲または▼を押して、「登録」を選び、
▶ボタンを押す。

「現在の録音設定を登録しますか?」と表示されます。

4 ▲または▼を押して、「はい」を選び、
▶ボタンを押す。

現在の録音設定が登録されます。

💡 ヒント

「Myシーン1」または「Myシーン2」の設定値は、各種設定メニューの「設定初期化」を実行するとお買い上げ時の設定に戻ります。

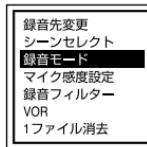
個別の録音設定項目を変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)、マイク感度、録音フィルターを設定できます。録音を始める前に設定します。

■ ご注意

個別の項目を設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。

- 1 録音停止中にオプション/録音済ファイルボタンを押してオプションメニューを表示する。



- 2 ▲または▼を押して、変更したい項目を選び、▶ボタンを押す。
設定を変更します。

録音モード設定

LPCM 44.1kHz/16bit	非圧縮ステレオ高音質録音
MP3 192kbps*	ステレオ標準録音
MP3 128kbps	ステレオ長時間録音
MP3 48kbps(MONO)	モノラル標準録音

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

ラジオ放送、オーディオ入力は、LPCMで録音できません。

マイク感度設定

音声用マイクのマイク感度を設定します。

- マイク感度設定
- オート* 録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます。
- 高 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
- 中 会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
- 低 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

* お買い上げ時の設定

音楽用

- マイク感度設定
- 高(音楽) 少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れた場所での録音に適しています。

- 低(音楽)* 大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音に適しています。

* お買い上げ時の設定

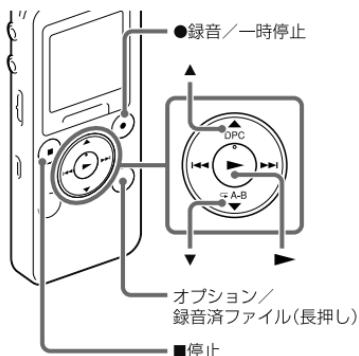
録音フィルター

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- オフ 録音フィルターを解除します。
- NCF(Noise Cut)* 音声以外の周波数の音をカットし、軽減できます。
- LCF(Low Cut) 低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。

* お買い上げ時の設定

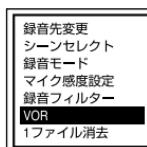
音がしたとき自動録音する－VOR (Voice Operated Recording)録音



VOR録音を解除するには
手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように設定できます。(VOR録音)

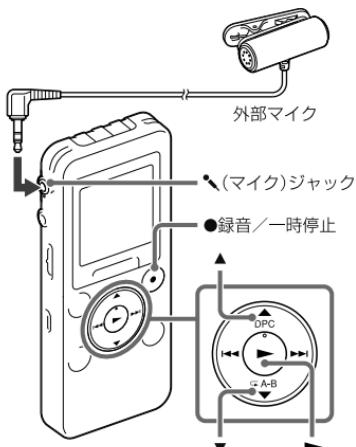
- 1 録音停止中または録音／一時停止中にオプションメニュー→「VOR」を選び、
▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オン」を選び、
▶ボタンを押す。
お買い上げ時は、「オフ」設定になっていま
す。

- 3 ●録音／一時停止ボタンを押す。
【録音】／VORが表示されます。
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さ
くなると、【録音】／VORが点滅して、
VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが
一定レベル以上の大きさの音を拾うと、
VOR録音が再開されます。

外部マイクをつないで録音する



3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、ポータブルラジオレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。

プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はポータブルラジオレコーダーから供給されます。

4 録音を止めるには■停止ボタンを押す。

マイクや他の機器をつないで使う

1 停止中に外部マイクを (マイク) ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

オーディオ入力* マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

外部マイク マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

2 ▲または▼を押して、「外部マイク」を選び、▶ボタンを押す。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売りのECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。



1 ポータブルラジオレコーダーの \blacktriangleleft (マイク) ジャックに別売りのECM-TL3をつなぐ。

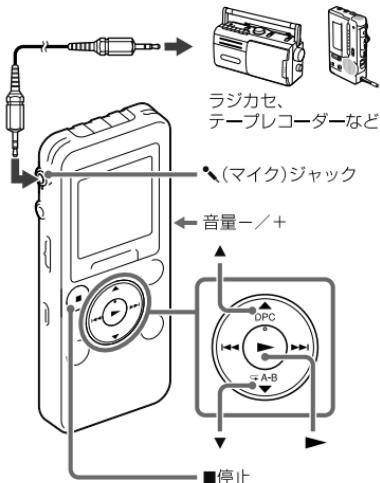
2 録音停止中にホームメニュー → 「 各種設定」→「録音設定」→「外部入力設定」→「MIC IN」を選ぶ。

3 電話のスピーカーをECM-TL3のマイク部にあてる。

■ ご注意

- ・録音する場合には、ポータブルラジオレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認のうえ、ご使用ください。
- ・呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからポータブルラジオレコーダーを録音状態にしてください。
- ・電話機の種類、回線の状況によってVOR機能(48ページ)が働かないことがあります。
- ・ポータブルラジオレコーダーを使って通話録音をしたとき、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器からの音声を聞く



（マイク）ジャックにつないだ再生機器からの音声を聞くことができます。

ヒント

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を市販のオーディオコード（54ページ）を使って、ポータブルラジオレコーダーの（マイク）ジャックにつなぎます。

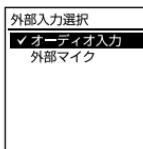
1 再生機器をポータブルラジオレコーダーの（マイク）ジャックにつなぐ。画面に「外部入力選択」が表示されます。

オーディオ入力* マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

外部マイク マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

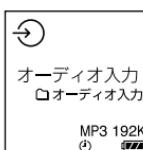
2 ▲または▼を押して、「オーディオ入力」を選び、▶ボタンを押す。



「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。

オーディオ入力音声を再生する場合は「いいえ」を選んでください。オーディオ入力音声を録音する場合は、録音状況に合わせてシンクロ録音機能を使うか使わないかを選ぶことができます（52ページ）。

3 ▲または▼を押して「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。



4 （マイク）ジャックにつないだ機器の再生を開始する。

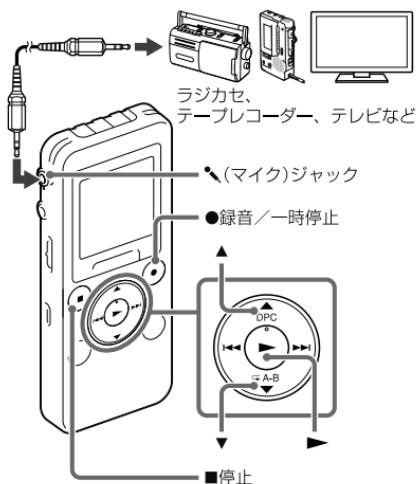
5 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

6 再生を止めるには■停止ボタンを押す。

ヒント

お気に入りラジオ局ボタン、または戻る／ホームボタンを押すと、電源を切らずに、オーディオ入力以外のモードに切り換えることができます。

他の機器の音声を録音する



ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声／音楽をポータブルラジオレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成できます。

ヒント

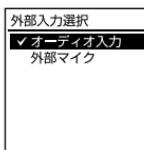
- 他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を市販のオーディオコード(54ページ)を使って、ポータブルラジオレコーダーの \blacktriangleleft (マイク)ジャックにつなぎます。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、ポータブルラジオレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。

- 停止中に他の機器をポータブルラジオレコーダーの \blacktriangleleft (マイク)ジャックにつなぐ。画面に「外部入力選択」が表示されます。

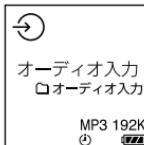
- ▲または▼を押して、「オーディオ入力」を選び、▶ボタンを押す。



「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。

オーディオ入力音声を再生する場合は「いいえ」を選んでください。オーディオ入力音声を録音する場合は、録音状況に合わせてシンクロ録音機能を使うか使わないかを選ぶことができます。

- ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。



- 録音／一時停止ボタンを押す。

■■■ / **SYNC** が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

- つないだ機器で再生を始める。

録音 / **SYNC** が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、**■■■** / **SYNC** が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときは、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

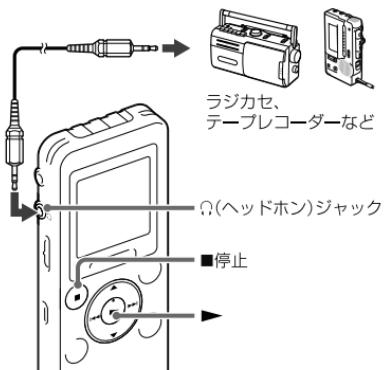
「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順3で「いいえ」を選び、手順4、5に従ってつないだ機器から録音を行います。

手順4で、●録音／一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

♪ヒント

録音を止めるには、■停止ボタンを押してください。

他の機器に音声を録音する



使用できる市販のオーディオコード

他の機器のアナログ音声端子に接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

ポータブルラジオレコーダーにつないだ他の機器でポータブルラジオレコーダーの音声を録音できます。

録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから録音することをおすすめします。

- 1** ポータブルラジオレコーダーの 〔ヘッドホン〕ジャックと他の機器の外部入力端子を市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2** ポータブルラジオレコーダーの ▶ ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。
ポータブルラジオレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。
- 3** 録音を止めるには、ポータブルラジオレコーダーの ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

録音したラジオを再生する

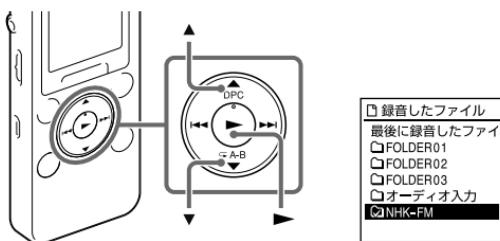
ファイルを選んで再生する(ラジオ用のフォルダ)

ホームメニューからラジオ録音したファイルを選び、再生や編集をすることができます。

- 1 ホームメニューで「□ (録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押す。

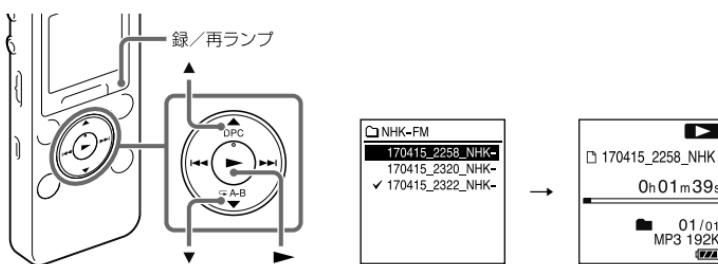
ラジオ放送を録音した場合は、フォルダ名が放送局名または周波数のフォルダが自動的に作成され、その中に保存されています。

- 2 ▲または▼ボタンで再生したい放送局名または周波数のフォルダを選び、▶ボタンを押す。



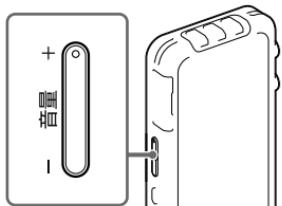
ファイル選択画面が表示されます。

- 3 ▲または▼ボタンでファイルを選び、▶ボタンを押す。



再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。

4 音量ー／＋ボタンを押して、音量を調節する。



ヒント

再生中、または再生停止中は、◀◀ または ▶▶ を押してファイルを切り換えることができます。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する

▶ ボタンを押す。

もう一度▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルを繰り返し再生する

▶ ボタンを長押しする。

「▶」が表示され、現在のファイルが繰り返し再生されます。

もう一度▶ ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

◀◀ を短く1回押す。 *1

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

◀◀ を短く何回か押す。

(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。 *2)

次のファイルに進む

▶▶ を短く1回押す。 *1

さらに次のファイルに進む

▶▶ を短く何回か押す。

(停止中は押したままにすると、連続して進みます。 *2)

*1 トランクマークが設定されている場合は、前後のトランクマークの位置まで戻り、または進みます(72ページ)。

*2 トランクマークには止まりません。

ファイル情報の表示を切り換える

ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを選択中は、停止中にオプションメニューで「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。

▲ または ▼ を押して、情報を切り替えます。

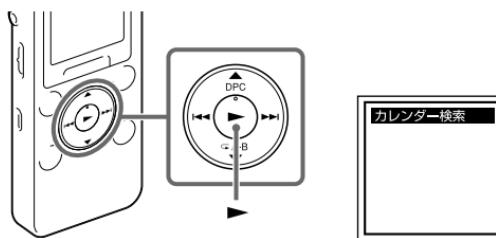
作成日時：
2017年4月15日 11:22
ファイルの長さ：
1h59m59s
録音した機器：
ICZ-R110

カレンダーから録音した日付を選んで再生する

カレンダーの録音日から再生ファイルを選ぶことができます。

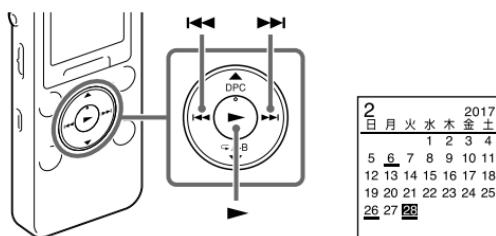
1 ホームメニューで「□(録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押す。

2 オプションメニュー→「カレンダー検索」を選び、▶ボタンを押す。



カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

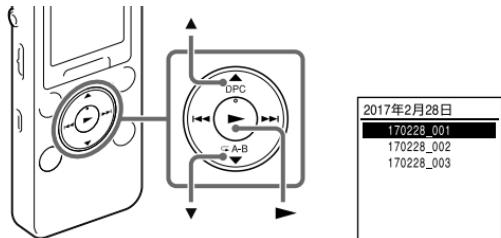
3 ◀または▶▶を押して、日付を選び、▶ボタンを押す。



ファイルが存在する日付には下線が表示されます。

▲または▼を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると連続して移動します。

4 ▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ボタンを押す。



確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

5 ▲または▼を押して、「決定」を選び、▶ボタンを押す。

ファイルが再生されます。

「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

□ ご注意

- ・カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめポータブルラジオレコーダーの時計を合わせる必要があります(80ページ)。
- ・ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。

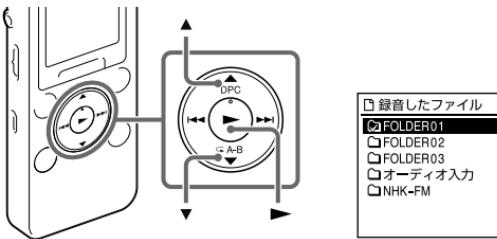
マイクで録音したファイルを再生する

ファイルを選んで再生する(マイクで録音したファイルのフォルダ)

ホームメニューから再生、編集するファイルを選べます。お買い上げ時には、「FOLDER01」が選択されています。

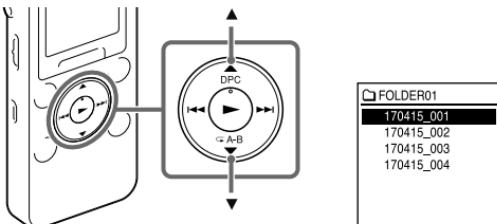
1 ホームメニューで「□(録音したファイル)」を選び、▶ボタンを押す。

2 フォルダを選ぶ。



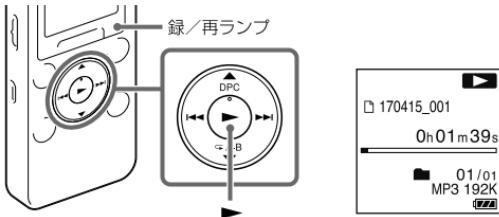
▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを押します。

3 ファイルを選ぶ。



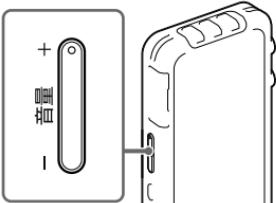
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選びます。

4 ► ボタンを押す。



再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。

5 音量ー／＋ボタンを押して、音量を調節する。



💡 ヒント

再生中、または再生停止中は、◀◀ または ▶▶ を押してファイルを切り換えることができます。

録音した直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で ► ボタンを押すと、直前に録音したファイルを再生できます。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

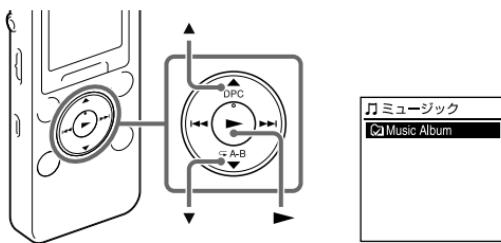
ポータブルラジオレコーダーに転送したポッドキャストファイルまたは音楽ファイルを再生する

ファイルを選んで再生する(ポッドキャストファイルまたは音楽ファイルのフォルダ)

ホームメニューから再生、編集するファイルを選べます。

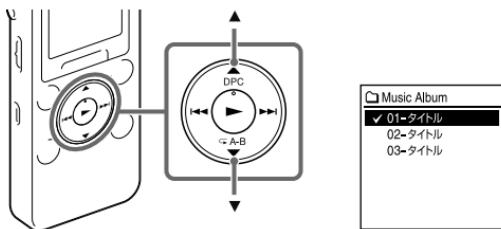
1 ホームメニューで「◎(ポッドキャスト)」または「□(ミュージック)」を選び、▶ボタンを押す。

2 フォルダを選ぶ。



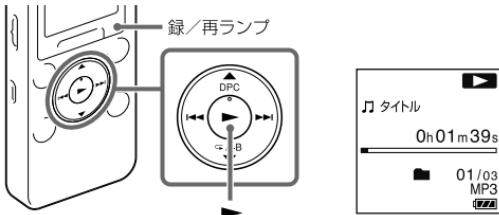
▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを押します。

3 ファイルを選ぶ。



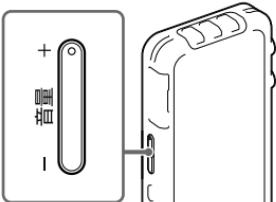
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選びます。

4 ► ボタンを押す。



再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。

5 音量ー／＋ボタンを押して、音量を調節する。



♪ ヒント

再生中、または再生停止中は、◀◀ または ▶▶ を押してファイルを切り換えることができます。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する

► ボタンを押す。

もう一度 ► ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルを繰り返し再生する

► ボタンを長押しする。

「」が表示され、現在のファイルが繰り返し再生されます。

もう一度 ► ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

◀◀ を短く1回押す。^{*1}

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

◀◀ を短く何回か押す。

(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。^{*2)}

次のファイルに進む

▶▶ を短く1回押す。^{*1}

さらに次のファイルに進む

▶▶ を短く何回か押す。

(停止中は押したままにすると、連続して進みます。^{*2)}

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます(72ページ)。

*2 トラックマークには止まりません。

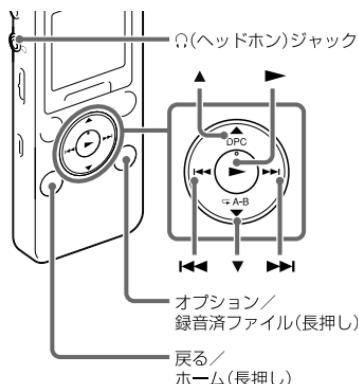
♪ ヒント

オプション／録音済ファイルボタンを長押しすると、ホームメニューの「 (録音したファイル)」のフォルダリストが表示されます。

最後に録音したファイルを再生するときなどに便利です。

いろいろな再生設定

より便利な再生方法



付属のヘッドホンで聞く

付属のステレオヘッドホンを (ヘッドホン) ジャックにつないでください。
ポータブルラジオレコーダーのスピーカーからは音が出なくなります。

スピーカークレードルで聞く

ポータブルラジオレコーダーの底面に
あるクレードル接続端子を、スピーカークレー
ドルの本体接続端子にしっかりと接続してくだ
さい。
スピーカークレードルから音声が出力され、
ポータブルラジオレコーダーから音が出なくな
ります。

ヒント

再生音の出力先(ヘッドホンまたはスピーカー)を
メニューで変更することができます。

ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設
定」 → 「スピーカー出力設定」で表示された画面で
設定してください。

聞きたいところをすばやく探すには

－イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい
場所をすばやく見つけることができます。
また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、
会議録音など長時間録音したものでも、聞きた
いところをすばやく探すことができます。

1 再生停止中／再生中に、オプションメ
ニュー → 「イージーサーチ」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して「オン」を選び、
▶ ボタンを押す。

オン 再生中、▶ を押すと、設定した間隔
進み、◀ を押すと、設定した間隔戻
ります。会議録音などで、聞きたいと
ころをすばやく探すのに便利です。

オフ* イージーサーチ機能を無効にします。
▶ または ▲ を押すと、ファイル
を早送り／早戻しします。

間隔設定 イージーサーチ送り、戻しの間隔を設
定します。

- ・ イージーサーチ送り : ▶ を押し
たときに進む間隔を、5秒、10秒*、
30秒、1分、5分、10分から選びま
す。
- ・ イージーサーチ戻し : ▲ を押し
たときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5
秒、10秒、30秒、1分、5分、10分か
ら選びます。

* お買い上げ時の設定

再生中に早送り／早戻しするには

- キュー／レビュー

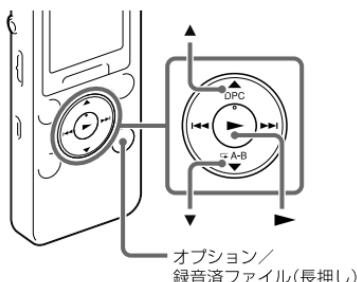
- 早送り(キュー)：
再生中に▶▶を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
再生中に◀◀を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しづつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

⌚ 最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると

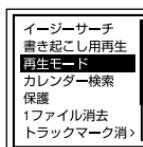
- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの先頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に◀◀を押したままになると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶を押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中に◀◀を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの先頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

再生モードを設定する

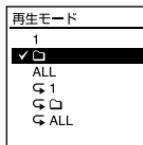


メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 1 停止／再生時にオプションメニュー→「再生モード」を選び、▶ボタンを押す。



- 2 ▲または▼を押して、「1」、「ALL」、「ALL」、「G1」、「G ALL」または「G ALL」を選び、▶ボタンを押す。



- | | |
|-------|----------------------|
| 1 | 1件ファイルを再生する。 |
| □ | フォルダ内のファイルを連続再生する。 |
| ALL | 全ファイルを連続再生する。 |
| G1 | 1件ファイルをリピート再生する。 |
| ➡□ | フォルダ内のファイルをリピート再生する。 |
| ➡ ALL | 全ファイルをリピート再生する。 |

* お買い上げ時の設定は、「□」になっています。

⌚ ヒント

再生中に▶ボタンを1秒以上押すと、メニューで設定しなくても、1ファイルをリピート再生できます。

必要な部分だけを再生する – A-Bリピート

- 再生中に▼➡ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。
 - もう一度▼➡ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「➡A-B」が表示されて、指定した範囲が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには

もう一度 ▼ ↵ A-Bボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには

- 停止ボタンを押します。
A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。
 - 再生ボタンを押すと、A-Bリピート再生が開始します。
もう一度 ■ 停止ボタンを押すと、A-Bリピート設定が解除されます。

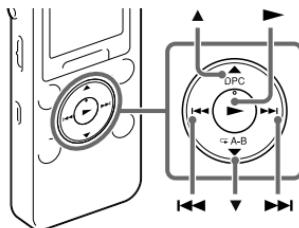
A-Bリピートの範囲を変えるには

A-Bリピート再生中にもう一度▼➡ A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。もう一度手順1と2を行ってください。

第2章

A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

再生速度を調節する – DPC
(Digital Pitch Control)



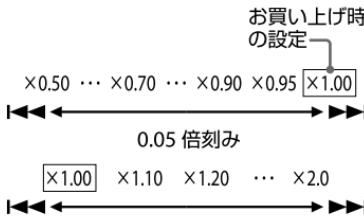
再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。再生速度を変えても、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。

- 1** 再生停止中／再生中に▲ボタンを押す。
DPC(速度調節)画面が表示されます。



- 2 ▲または▼を押して「オン」を選ぶ。

- 3** ◀◀ または ▶▶ を押して、再生速度を調節する。



0.10倍刻み
ボタンを長押しすると連続して設定できます

お買い上げ時は、「x1.00」に設定されています。

- 4 ►** を押して、再生速度を決定する。

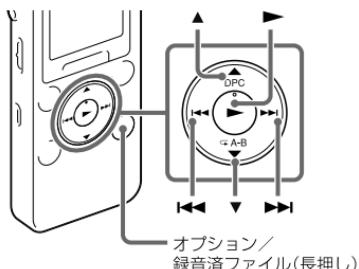
通常の再生速度に戻すには

DPC (速度調節)画面で「オフ」を選びます。

■ ご注意

LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。

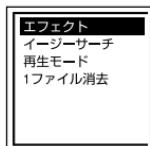
音質を切り換える(エフェクト)



オプション／
録音済ファイル(長押し)

音楽ファイルやポッドキャストファイルを再生するときに、再生する音楽に合わせた効果を設定します。

- 1 ミュージックまたはポッドキャストの再生停止中または再生中に、オプションメニュー → 「エフェクト」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、お好みの音質を選び、▶ボタンを押す。

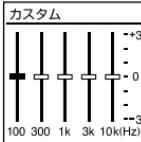
オフ*	エフェクト機能を無効にします。
ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1	低音が強調されます。
ベース2	低音が更に強調されます。
カスタム	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

* お買い上げ時の設定

自分好みの音質に設定するには

- 1 「音質を切り換える(エフェクト)」の手順2で「カスタム」を選び、▶ボタンを押す。

カスタム設定画面が表示されます。



- 2 ◀または▶を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、▲または▼を押してレベルを調節する。

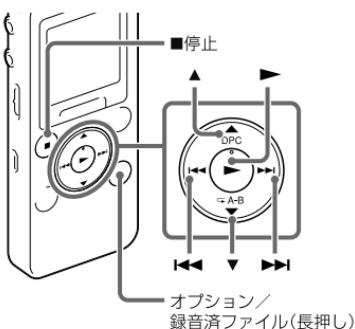
-3～+3の7段階に設定できます。

- 3 ▶ボタンを押す。

■ ご注意

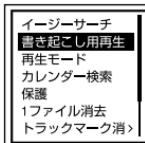
- エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストファイルの再生のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
- エフェクト機能は、ヘッドホン使用時のみ有効です。ただし、ラジオ受信中はエフェクト機能は働きません。

録音を書き起こす (書き起こし用再生)



録音した1つのファイルを早送り/早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、DPC（デジタルピッチコントロール）で速度調節しながら再生できます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。

- 1 再生停止中に、オプションメニュー→「書き起こし用再生」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▶ボタンを押して再生を開始する。



書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調節できます。

- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくなります。▲を押すと、DPC（速度調節）画面が表示されます。▲または▼を押して「オン」を選び、◀/▶を押して速度を調節し、▶ボタンを押して決定します。
- イージーサーチ：◀/▶を押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：◀/▶を押したままにして早戻し/早送りし、聞きたいところを探すことができます。

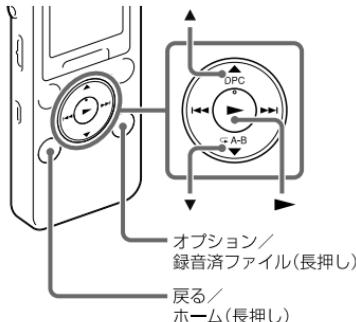
■ ご注意

- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れスリープモードに入ります。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
 - 再生モード
 - 分割
 - A-B リピート

※ ヒント

- 再生を止めるには、■停止ボタンを押してください。
- 書き起こし用再生モードを終了するには、再生停止中にオプションメニュー→「書き起こし終了」を選びます。
- 違うファイルを聞きたいときは、戻る/ホームボタンを押してファイル一覧を表示させて、聞きたいファイルを選んでください。

ファイルを消去する



■ ご注意

- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護されているファイルは、消去できません。保護を解除してから操作してください。

- 1** ホームメニューで「◎ (ポッドキャスト)」、「□ (ミュージック)」、「□ (録音したファイル)」のいずれかを選び、▶ボタンを押す。
- 2** ▲または▼を押して、消去したいファイルの入っているフォルダを選び、▶ボタンを押す。
- 3** ▲または▼を押して、消去したいファイルを選び、▶ボタンを押す。
- 4** オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選び、▶ボタンを押す。
「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
- 5** ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

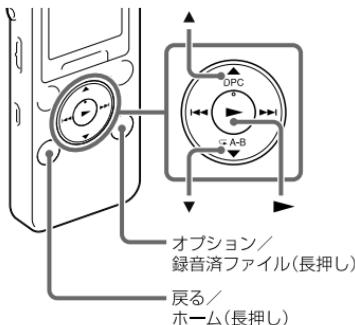
途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。また、ファイル一覧で消去したいファイルにカーソルを移動し、オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選んで消去することもできます。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割(75ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順4から手順5の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する



3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、
►ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

途中で消去をやめるには

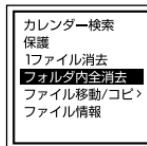
手順3で「いいえ」を選び、►ボタンを押します。

■ ご注意

- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護されているファイルは、消去できません。保護を解除してから操作してください。

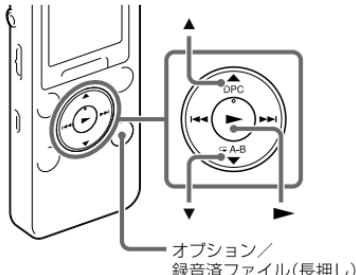
1 「ファイルを消去する」(68 ページ)
の手順1～2を行い、ファイルを消去したいフォルダを選ぶ。
選択したフォルダのファイル一覧が表示されます。

2 オプションメニュー→「フォルダ内全消去」を選び、►ボタンを押して決定する。



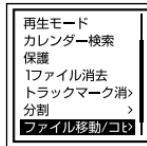
「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

ファイルを別のフォルダに移動する



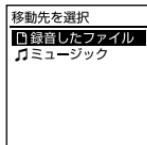
1 「ファイルを消去する」(68ページ)の手順1~3を行い、移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止中にオプションメニュー → 「ファイル移動/コピー」を選び、▶ボタンを押す。



3 ▲または▼を押して「内蔵メモリーへ移動」または「メモリーカードへ移動」を選び、▶ボタンを押す。

4 ▲または▼を押して、移動先を「□録音したファイル」または「♪ミュージック」から選び、▶ボタンを押す。



5 ▲または▼を押して、移動先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

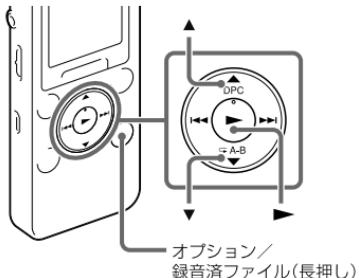
途中でファイルの移動をやめるには

手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

■ご注意

- ・ポッドキャストファイルは移動できません。
- ・保護されているファイルは移動できません。
- ・メモリー残量が少ないとファイルを移動できない場合があります。あらかじめメモリーに充分な空き容量があることを確認してください。

ファイルをコピーする

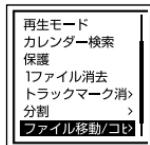


内蔵メモリー同士、またはメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。

操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

**1 「ファイルを消去する」(68ページ)
の手順1~3を行い、コピーしたいファイルを選択。**

2 停止中にオプションメニュー→「ファイル移動/コピー」を選び、▶ボタンを押す。



3 ▲または▼を押して「内蔵メモリーヘコピー」または「メモリーカードヘコピー」を選び、▶ボタンを押す。

4 ▲または▼を押して、コピー先を「録音したファイル」または「ミュージック」から選び、▶ボタンを押す。

5 ▲または▼を押して、コピー先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

コピーを中止するには

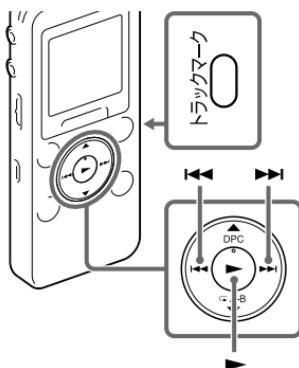
手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る/ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

■ ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ないと、ファイルコピーができない場合があります。
- ポッドキャストファイルはコピーできません。
- コピーの途中でメモリーカードを抜き差ししたり、電源を切ったりしないでください。ファイルが破損する恐れがあります。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するため、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

1 録音／再生／一時停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

▶(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



トラックマークを付けた位置を探して聞くには

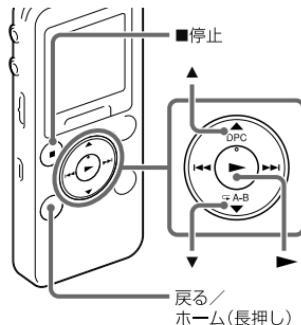
停止中に◀◀ または ▶▶ を押します。

▶(トラックマーク)表示が1回点滅したら、▶ボタンを押します。

ご注意

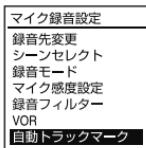
- トラックマークを設定できるのはソニー製のポータブルラジオレコーダーおよびICレコーダーで録音したファイルのみです。ただし、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、トラックマークが設定できなくなる場合があります。
- 保護されているファイルには、トラックマークが付けられません。保護を解除してから操作してください(77ページ)。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルには、トラックマークが付けられません。
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

自動でトラックマークを付ける

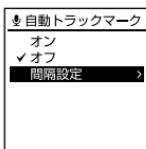


録音中に、一定の間隔で自動的にトラックマークを付ることができます。長い録音を後から検索する場合などに便利です。

- 1** ホームメニュー → 「(各種設定)」
→ 録音する音源にあわせて「ラジオ設定」、「マイク録音設定」、または「オーディオ入力設定」→ 「自動トラックマーク」を選び、▶ボタンを押す。



- 2** ▲または▼を押して、「間隔設定」を選び、▶ボタンを押す。



- 3** ▲または▼を押して、トラックマークを付ける間隔を選び、▶ボタンを押す。



お買い上げ時は、「5分」設定になっています。

- 4** ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。

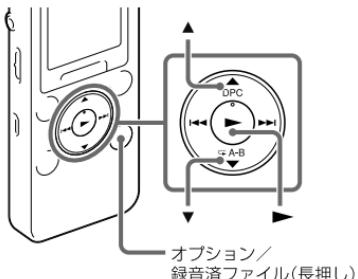
- 5** ■停止ボタンを押して、設定を終了する。

録音を開始すると、設定した間隔で自動的にトラックマークが付けられます。

自動トラックマークをやめるには

手順2で「オフ」を選び、▶ボタンを押します。

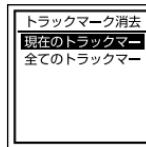
トラックマークを消去する



- 1** 消去したいトラックマーク位置のあとで停止する。

- 2** 停止中にオプションメニュー → 「トラックマーク消去」を選び、▶ボタンを押す。

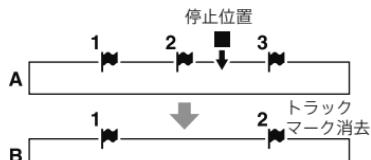
- 3** ▲または▼を押して「現在のトラックマーク」を選び、▶ボタンを押す。



「トラックマークを消去しますか?」と表示されます。

- 4** ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークが消去されます。



A : トラックマーク消去前：■は停止位置
B : トラックマーク消去後：停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

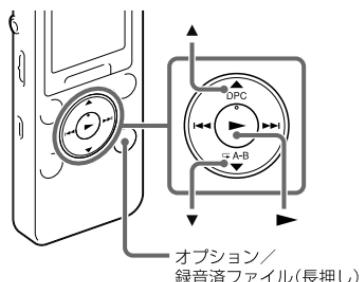
消去をやめるには

手順4で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

■ ご注意

- 保護されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護を解除してから操作してください(77ページ)。
- 録音停止画面では、トラックマークを消去できません。ホームメニューからトラックマークを消去したいファイルを選んでください。

すべてのトラックマークを消去する



1 「ファイルを消去する」(68ページ)の手順1～3を行い、トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 オプションメニュー→「トラックマーク消去」→「全てのトラックマーク」を選び、▶ボタンを押す。



「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ボタンを押す。

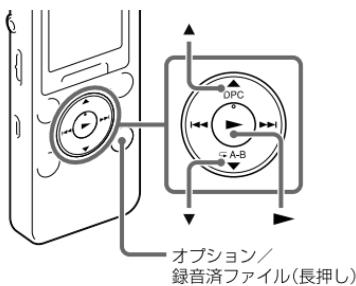
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、▶ボタンを押します。

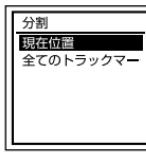
ファイルを分割する

現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、新しいファイル番号を付けることができます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすぐやく探せて便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

- 1 分割したい位置で停止する。
- 2 オプションメニュー → 「分割」 → 「現在位置」を選び、▶ ボタンを押す。



「現在の停止位置で分割しますか？」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
		▲	
B	ファイル1	ファイル2_1 ファイル2_2	ファイル3

A : 分割前 : ▲ は分割位置

B : 分割後 : 分割したファイル名の末尾に連番('1','2')が付く。

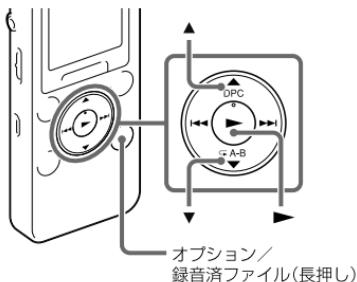
分割をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

■ ご注意

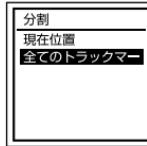
- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した前後のファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンからコピーしたファイル)は分割できません。また、アプリケーションソフト Sound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。
- トランクマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトランクマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

すべてのトラックマーク位置で分割する



1 「ファイルを消去する」(68ページ)の手順1~3を行い、すべてのトラックマークで分割したいファイルを選ぶ。

2 停止中にオプションメニュー → 「分割」 → 「全てのトラックマーク位置」を選び、▶ ボタンを押す。



「全てのトラックマークで分割しますか？」と表示されます。

3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークの位置でファイルが分割され、トラックマークは消去されます。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番(_01 ~)が振られます。



A : 分割前 : ■ はトラックマーク位置

B : 分割後 : トラックマーク位置でファイルが分割され、分割されたファイル名の末尾に連番(''_01'、'_02')が付く

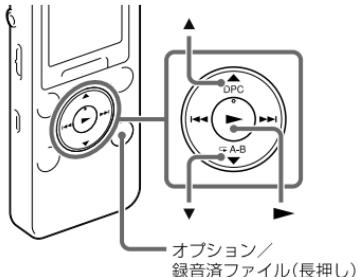
途中で分割をやめるには

- 手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 分割中に中止するには、手順3で「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されているときに、戻る/ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

ご注意

- 保護されているファイルは、分割できません。保護を解除してから操作してください(77ページ)。
- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割したすべてのファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンからコピーしたファイル)は分割できません。また、アプリケーションソフト Sound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。

ファイルを保護する



大事なファイルを間違って消去、編集することができないように保護することができます。保護されたファイルには、 (保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1 「ファイルを消去する」(68ページ)の手順1～3を行い、保護したいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にオプションメニュー→「保護」を選び、▶ボタンを押して決定する。「保護しました」が表示され、ファイルが保護されます。保護されたファイルには (保護)マークが表示されます。

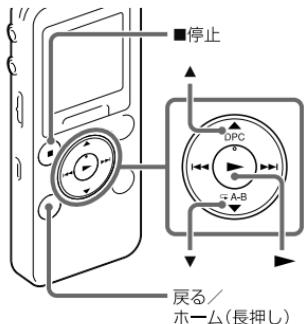
保護を解除するには

保護されたファイルを選び、手順2で「保護解除」を選びます。

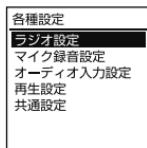
■ ご注意

ポッドキャストファイルは保護できません。

各種設定メニューの使いかた



- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」を選び、▶ボタンを押して決定する。
各種設定メニュー画面が表示されます。



- 2 ▲または▼を押して変更したい設定メニューを選び、▶ボタンを押して決定する。
- 3 ▲または▼を押して、設定したい項目を選び、▶ボタンを押す。
- 4 ▲または▼を押して設定内容を選び、▶ボタンを押して決定する。

- 5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意
操作しない状態が1分以上続くと、各種設定メニューが自動的に終了します。

1つ前の画面に戻るには
メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押します。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

時刻を手動で設定する場合

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「時計設定」を選び、▶ボタンを押して決定する。
時計設定画面が表示されます。



- 2 年月日と時分を合わせる。
▲または▼を押して、年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時の順に設定します。
戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。



- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

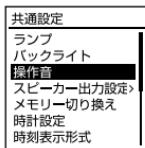
ご注意
それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされます。

ヒント
現在時刻は、戻る／ホームボタンを長押ししてホームメニューを表示させた際、画面の左下に表示されます。

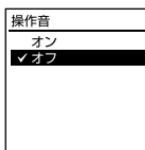
メニューを使って操作音を設定する

操作音が鳴らないように設定することができます。

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「操作音」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。



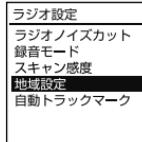
お買い上げ時は「オン」に設定されています。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

メニューを使って現在いる地域を設定するには

ラジオをお聞きになる地域が変更になった場合は、現在いる地域を設定し、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「ラジオ設定」 → 「地域設定」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押してお好みの地域を選び、▶ボタンを押して決定する。
プリセットの上書きを確認するメッセージが表示されます。

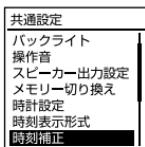
- 3 ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。

メニューを使って時刻補正を設定するには

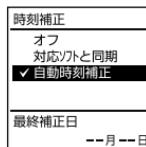
ラジオ受信中、オーディオ入力再生中または停止中にメニューを使って、時刻補正の設定を変更することができます。

ここではラジオ受信中の画面を例に説明します。

- 1 ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「共通設定」 → 「時刻補正」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オフ」、「対応ソフトと同期」または「自動時刻補正」を選び、▶ボタンを押して決定する。メッセージが表示され、時計補正方法が設定されます。



「オフ」を選んだ場合：

「時計設定」画面で、手動で時計合わせを行ってください。

「対応ソフトと同期」を選んだ場合：

ポータブルラジオレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に補正されます。

「自動時刻補正」を選んだ場合：

AMラジオのP01に登録したNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用して、時刻が自動的に補正されます。「最終補正日」欄には、自動時刻補正を行った最終日が表示されます。

■ ご注意

AMラジオが受信できない場合は、時刻が補正されません。

「最終補正日」欄にも表示できません。

AMラジオのNHK第1放送または第2放送が受信できることを確認してからご使用ください。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

各種設定項目一覧

設定メニュー	設定項目	参照ページ	
マイク録音 設定	ラジオノイズカット	36	
	録音モード ^o	47	
	スキャン感度	36	
	地域設定	16、 79	
	自動トラックマーク	72	
	録音先変更	43	
	シーンセレクト	45	
	録音モード ^o	47	
	マイク感度設定	47	
	録音フィルター	47	
オーディオ 入力設定	VOR	48	
	自動トラックマーク	72	
	録音先変更	43	
	録音モード ^o	47	
	シンクロ録音	52	
	自動トラックマーク	72	
	再生設定	エフェクト	66
	イージーサーチ	63	
	再生モード ^o	64	
	共通設定	ランプ	81
バックライト		81	
操作音		81	
スピーカー出力設定		82	
メモリー切り換え		22、 82	
時計設定		78	
時刻表示形式		82	
時刻補正		82	
オートパワーオフ		82	
設定初期化		82	
メモリー初期化		82	
録音可能時間		83	
本体情報		83	

共通設定項目詳細

ランプ

録／再ランプの点灯、消灯を設定します。

オン* 動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。

オフ 動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。

バックライト

画面表示時の画面のバックライトの設定をします。

オン* 画面表示後約20秒間バックライトが点灯します。20秒以内に次の操作をしないと、バックライトは消灯します。

オフ バックライトが点灯しません。

* お買い上げ時の設定

操作音

確認音を設定します。

オン* 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。

オフ 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

* お買い上げ時の設定

設定を変更する

スピーカー出力設定

ポータブルラジオレコーダー（本体）のみで使用する場合と、スピーカークレードルに載せて使用する場合のスピーカーを設定します。

本体使用時	自動(ヘッドホン優先)* ：ヘッドホンが接続されている場合はヘッドホンから、ヘッドホンが接続されていない場合はポータブルラジオレコーダーのスピーカーから音声が 输出されます。 スピーカー固定 ：ヘッドホンの接続に関わらず、常にポータブルラジオレコーダーのスピーカーから音声が 输出されます。
-------	--

クレードル 使用時	自動(ヘッドホン優先) ：ヘッドホンが接続されている場合はヘッドホンから、ヘッドホンが接続されていない場合はスピーカークレードルのスピーカーから音声が 输出されます。 スピーカー固定* ：ヘッドホンの接続に関わらず、常にスピーカークレードルのスピーカーから音声が 输出されます。
--------------	--

* お買い上げ時の設定

メモリー切り換え

録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。

内蔵メモリー*	内蔵メモリーを使用します。
メモリーカード	ポータブルラジオレコーダーのメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間*	12:00AM=真夜中、12:00PM=正午
24時間	0:00=真夜中、12:00=正午

* お買い上げ時の設定

時刻補正

時刻補正を設定できます。

オフ	時刻補正を行いません。
対応ソフトと同期	Sound Organizerソフトに接続したときに、コンピューターに設定された時刻に合わせて補正します。

自動時刻補正* 時報による時刻補正を行います。

* お買い上げ時の設定

オートパワーオフ

録音、再生、ラジオ受信、オーディオ入力などを行っていない状況で時間がたつと、自動的に電源が切れます。

オフ	電源は自動的に切れません。
5分	約5分後に電源が切れます。
10分*	約10分後に電源が切れます。
30分	約30分後に電源が切れます。
60分	約60分後に電源が切れます。

* お買い上げ時の設定

設定初期化

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。
いいえ	初期化しません。

■ ご注意

録音予約の一覧、オンラインマーク、ラジオのプリセット、お気に入りボタン設定、保護、メモリー切り換え、時計設定、地域設定、放送局名変更については初期化されません。

メモリー初期化

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、初期化します。
いいえ	初期化しません。

■ ご注意

- ポータブルラジオレコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずポータブルラジオレコーダーで行ってください。
- メモリーの初期化をすると、メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。(保護したファイルやSound Organizerも消去されます。)一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

録音可能時間

現在の録音設定における録音可能な残り時間を確認できます。録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。

本体情報

本体の型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。ユーザー名はSound Organizerで設定できます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。

オプションメニュー項目一覧

各ホームメニューでオプション／録音済ファイルボタンを押した際に表示されるオプションメニューの一覧です。

録音したファイル

オプションメニュー名	参照ページ
イージーサーチ	63
イージーサーチ間隔設定	63
書き起こし用再生	67
書き起こし終了	67
再生モード	64
カレンダー検索	57
保護	77
保護解除	77
1ファイル消去	68
フォルダ内全消去	69
トラックマーク消去	73
分割	75
ファイル移動／コピー	70、 71
ファイル情報	56

マイク録音

オプションメニュー名	参照ページ
録音先変更	43
シンセレクト	45
録音モード	47
マイク感度設定	47
録音フィルター	47
VOR	48
1ファイル消去	68

ミュージック

オプションメニュー名	参照ページ
エフェクト	66
イージーサーチ	63
イージーサーチ間隔設定	63
書き起こし用再生	67
書き起こし終了	67
再生モード	64
保護	77
保護解除	77
1ファイル消去	68
フォルダ内全消去	69
ファイル移動／コピー	70、 71
ファイル情報	56

ポッドキャスト

オプションメニュー名	参照ページ
エフェクト	66
イージーサーチ	63
イージーサーチ間隔設定	63
書き起こし用再生	67
書き起こし終了	67
再生モード	64
1ファイル消去	68
フォルダ内全消去	69
ファイル情報	56

FMラジオ

オプションメニュー名	参照ページ
ラジオノイズカット	36
録音モード	47
お気に入りに登録	28
プリセットに登録	31
プリセットを解除	31
オートプリセット	30
地域設定	16、 79
放送局名変更	32

AMラジオ

オプションメニュー名	参照ページ
ラジオノイズカット	36
録音モード	47
お気に入りに登録	28
プリセットに登録	31
プリセットを解除	31
オートプリセット	30
地域設定	16、 79
放送局名変更	32

オーディオ入力

オプションメニュー名	参照ページ
録音先変更	43
録音モード	47
シンクロ録音	52

パソコンにつないで使う

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続すると、パソコンとファイルをやり取りできます。

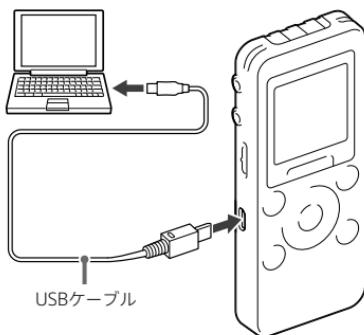
- 1 ポータブルラジオレコーダーのUSB端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを奥まで差し込んで接続する。

ポータブルラジオレコーダーの電源がオフの状態でも接続できます。

- 2 正しく認識されているかを確認する。Windowsでは、「エクスプローラー」を開き、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。

Macでは、Finderに「RADIO REC」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。接続中は表示窓に「接続中 予約は実行されません」が表示されます。

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する



ホータブルラジオ
レコーダー

■ ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSBケーブルで接続してください。
- 同時に使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は、タイマー設定時刻になってもタイマーは作動しません。タイマー設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取り外してください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、ポータブルラジオレコーダーは外しておいてください。

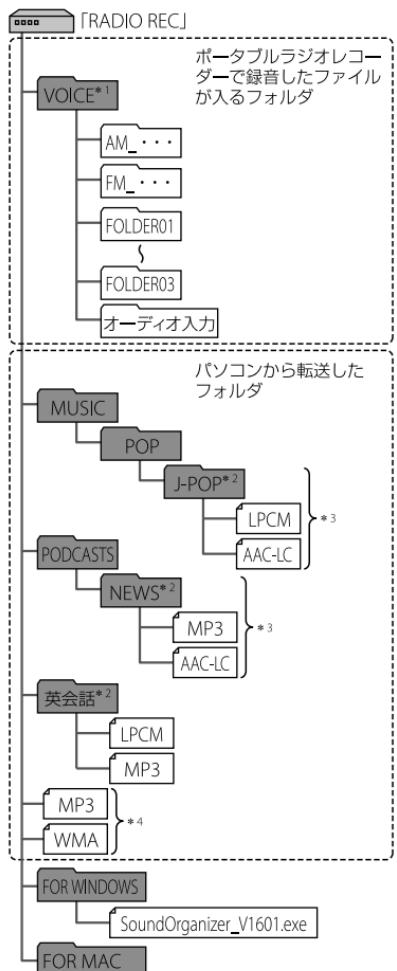
フォルダとファイルの構成

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。

Windowsではエクスプローラーを使って、MacではFinderを使って、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。

パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



*³ 音楽ファイルを認識できるのは、ポートブルラジオレコーダーに転送したフォルダの8階層目までです。

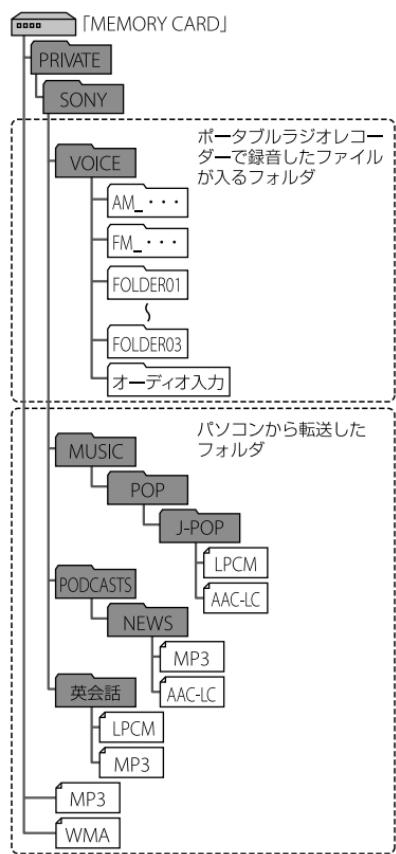
*⁴ 音楽ファイルを「RADIO REC」の直下に転送すると「未分類」というファイルとして「未分類フォルダ」内に表示されます。

♪ ヒント

- ・ポートブルラジオレコーダーでは、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名の情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- ・タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、ポートブルラジオレコーダーでは「No Data」と表示されます。

ポートブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから(22ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

microSDカードの場合



ポータブルラジオレコーダーで見たフォルダの構成

ポータブルラジオレコーダーの表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なり、ホームメニューの「□ (録音したファイル)」、「♪ (ミュージック)」、「◎ (ポッドキャスト)」にて分類されます。

■ ご注意

ポータブルラジオレコーダーで再生できるファイルが入っていないフォルダは、ポータブルラジオレコーダーでは表示されません。

ラジオ／外部入力録音時のフォルダ名について

「録音予約」の「録音先フォルダ」で「自動分類」を選んでいる場合(41ページ)、ラジオ／オーディオ入力の録音時にファイルの保存先として以下の名前で自動的にフォルダが作られます。

- 放送局名が取得できている場合：放送局名
(例：NHK-FM)
- 放送局名が取得できていない場合：バンド
(AMまたはFM) + 周波数(例：AM693kHz)
- オーディオ入力の場合：オーディオ入力

ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 ポータブルラジオレコーダーの録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。



次に、[RADIO RECの取り出し]をクリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「RADIO REC」の取り外しアイコンをクリックしてください。

パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 パソコンからUSBケーブルを取り外す。

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

Sound Organizerをお使いの場合は、別冊の「Sound Organizer (Ver.1.6)（サウンドオーガナイザー）を使う」およびヘルプガイドをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 10 Home / Windows 10 Pro / Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro / Windows 7 (Service Pack1以降)
- macOS (v 10.9 ~ v 10.12)
標準インストール（日本語版のみ）
詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、「サポート・お問い合わせ」のホームページ(101ページ)をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

困ったときは

「症状から調べる」(90ページ)の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる(101ページ)
パソコンで“ポータブルラジオレコーダー”的操作について、説明があります。
- ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(101ページ)

インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。

- Sound Organizerのヘルプで調べる
Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプで調べることができます。

詳しくは、「Sound Organizer (Ver.1.6) (サウンドオーガナイザーを使う」(別冊)をご覧ください。

リスタートする。

リスタートすると問題が解決することがあります。

充電する。

充電すると問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(127ページ)またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
なお、保証書とアフターサービスについては、101ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ポータブルラジオレコーダーのリスタートについて

「こんなときは」の項目をチェックしてみても解決しない場合、リスタートすると、問題が解決することがあります。ピンなど先の細い棒で、リスタートボタンを押してください。動作中にリスタートボタンを押すと、ポータブルラジオレコーダーに保存しているデータや設定が消去される場合がありますので、画面右下にある録／再ランプが消えていることを確認してから操作してください。



こんなときは(ポータブルラジオレコーダー)

分類	症状	原因／処置
ラジオ	ラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none">地域設定が間違っています。 → 地域設定で正しい地域を選んでください(16、79ページ)。
	FMラジオの放送局を受信できない、雑音が聞こえる。	<ul style="list-style-type: none">ステレオヘッドホンをつないでいません。付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をします。 → ステレオヘッドホンを \ominus (ヘッドホン) ジャックにつなぎ、コードをのばしてください。スピーカークレードルにFMラジオ用アンテナケーブルを接続していない。 → スピーカークレードルを使用する場合は、付属のFMラジオ用アンテナケーブルを接続し、FM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」にしてください。
AMラジオが受信できない。		<ul style="list-style-type: none">スピーカークレードルにループアンテナを接続していません。 → スピーカークレードルを使用する場合は、付属のループアンテナを接続しAM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」してください。
ラジオ受信中、音声が小さい、または音質がよくない。		<ul style="list-style-type: none">テレビから離してお使いください。電波が弱い状態です。 → 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。

分類	症状	原因／処置
ラジオ	ラジオ受信中、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用しています。 → 携帯電話などをポータブルラジオレコーダーから離してご使用ください。
	スピーカークレードルを使うと雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 雑音(ノイズ)は電源コードやACアダプターを伝わって入ってくる場合もあります。 → スピーカークレードルのACアダプターを別のコンセントに差し替えてみてください。 また、ACアダプターを使わずに、内蔵充電池のみで使用すると、電源コードからの雑音を解消することができます。
	ラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> 室内アンテナを使用しているテレビの近くでラジオ受信中は、テレビから離してください。
	ラジオ放送がプリセット登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ放送局が30件登録されています。 → プリセット登録を消去してください(31ページ)。 メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。 → 「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(36ページ)。
	プリセット番号を選んでも、聞きたい放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいプリセット番号を選んでいません。 → 正しい放送局のプリセット番号を選んでください。 正しい地域を選んでいません。 → 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定してください(16、79ページ)。
	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンが挿入されています。 → メニューの「スピーカー出力設定」が「自動(ヘッドホン優先)」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「スピーカー出力設定」を「スピーカー固定」にしてください。(82ページ)
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「スピーカー出力設定」が「スピーカー固定」に設定されています。 → 「スピーカー出力設定」を「自動(ヘッドホン優先)」にしてください。(82ページ) ヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞えてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかりと差し込んでください。
ノイズ	ノイズを少なく録音したい。	<ul style="list-style-type: none"> 録音フィルター機能の[NCF (Noise Cut)]または、[LCF (Low Cut)]を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます。 また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。
	ラジオのノイズを少なくしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ラジオノイズカットが「オフ」になっています。 → ラジオノイズカットを「オン」に設定してご使用ください。(36ページ)
	カサカサという音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none"> 録音したとき、ポータブルラジオレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリという音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none"> 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → ポータブルラジオレコーダーを離して録音してください。
	外部マイク(別売)で録音すると、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。

分類	症状	原因／処置
ノイズ	ヘッドホンで聞くと雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵充電式電池が消耗しています。 → 充電してください。(13ページ) 電源がオフになっています。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方 向へスライドさせると、電源が入ります(14ページ)。 ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドしてください (23ページ)。
	電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> 「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の 方向へスライドさせると、電源が切れます(14ページ)。
	電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます(お買い上げ時は、設定は10分になっています)。メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(82ページ)。 スリープタイマーが設定されています。
	電池の持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> 104ページの電池の持続時間は、音量レベルを29で再生した場合 の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 → 使用しない場合でも、わずかですが電池を消費します。長い間 お使いにならない場合は、電源を切る(14ページ)ことをおすす めします。また、オートパワーオフ設定(82ページ)時間を 短くしておくと切り忘れての電池の消耗を抑えることができます。 → 長期間使わない場合、半年ごとに充電するようにしてください。 充電を始めると短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっています。電池残量がない状態からフル充電までは約2時間 30分かかります。 ポータブルラジオレコーダーをしばらく使用していなかった場合は、何回か充電、放電(ポータブルラジオレコーダーを動作させる)を繰り返してください。 5°C以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 内蔵充電式電池が劣化しています。 → 充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が 可能です。充分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の 半分ほどになったときは電池が劣化しています。 → ソニーの相談窓口にお問い合わせください。
充電	パソコンで充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソ コンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは 充電できません。 パソコンからポータブルラジオレコーダーを外し、再度接続してく ださい。 ポータブルラジオレコーダーが対応しているシステム構成をご確 認ください。
	スピーカークレードルで充電 できない。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターが接続されていません。 → 付属のACアダプターを接続してください。(12 ページ)
	充電表示が表示されない、ま たは途中で消えてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーのUSB 端子が正しく接続されていま せん。 内蔵充電式電池が不活性化しています。 → 長期間使わないと、電池が「不活性化」という現象になることが あります。この現象は、何度か充電と放電を繰り返しながら使っ ているうちに、回復することがあります。

分類	症状	原因／処置
充電	電池残量、充電表示部にColdまたはHotが点滅表示している。	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーの充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度(5°C ~ 35°C)になるようにしてください。
スピーカー ケーブル	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターが接続されていません。 →付属のACアダプターを接続してください。(12ページ) スピーカークーラードルに接続されていない。 →ポータブルラジオレコーダーの底面にあるケーブル接続端子が、スピーカークーラードルの本体接続端子にしっかりと接続されるように設置してください。 ヘッドホンが挿入されています。 →「スピーカー出力設定」の「ケーブル使用時」の設定が、「自動(ヘッドホン優先)」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「スピーカー出力設定」の「ケーブル使用時」の設定を「スピーカー固定」にしてください。(82ページ) 本体の音量が小さくなっています。 →音量-/+ボタンを押して、音量を調節してください。
動作	正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリーまたはメモリーカードがパソコンで初期化されています。 →ポータブルラジオレコーダーで初期化を行ってください(82ページ)。
	録／再ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 →「オン」に切り換えてください(81ページ)。
録音	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> 録音残り時間が不足している場合は録音できません。
	録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(48ページ)。 予約録音しているときは、予約録音準備のため、予約録音時刻の約1分前に自動的に録音が止まります。
	VOR機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> シンクロ録音では、VOR機能は働きません(52ページ)。 ラジオを録音しています。ラジオ録音中はVOR機能は働きません。
	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器のヘッドホン端子を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。
再生	再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーに内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 →付属のヘッドホンまたは、スピーカークーラードルに接続して使用してください。
	本体のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンが挿入されています。 →メニューの「スピーカー出力設定」の「本体使用時」の設定が、「自動(ヘッドホン優先)」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「本体使用時」の設定を「スピーカー固定」にしてください(82ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 →いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。 メニューの「スピーカー出力設定」の「本体使用時」の設定が、「スピーカー固定」に設定されています。 →「本体使用時」の設定を「自動(ヘッドホン優先)」にしてください(82ページ)。

分類	症状	原因／処置
再生	「エフェクト」で音質が変化しない。	<ul style="list-style-type: none"> エフェクト機能はヘッドホン使用時のみ有効です。ただし、ラジオ受信中はエフェクト設定は無効になります。 エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストファイルの再生時のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> DPC (速度調節) の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。 → DPC (速度調節) の設定を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、DPC (速度調節) の設定で再生スピードを調節してください(65ページ)。 LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。
編集	ファイルを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーに一定の空き容量がありません。 選んだフォルダに199のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する(68ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストファイルは移動できません。 保護されているファイルは移動できません。
ファイルを別のフォルダへコピーできない。		<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストファイルはコピーできません。
予約	予約が設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域が正しく設定されていません。 → 地域を設定してください(79ページ)。 年月日や時計が正しく設定されていません。 → 時計を正しく設定してください(78ページ)。
	予約が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> 年月日や時計が正しく設定されていません。 → 時計を正しく設定してください(78ページ)。 予約の日時がずれています。 ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続していると、予約設定時刻になっても予約は作動しません。 → 予約設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取り外してください(88ページ)。 録音中はオンタイマーは動作しません。 予約録音開始時刻に電源が入っていないときは、表示画面に何も表示されませんが、録音を実行しています。
時計	時計表示が「----年--月--日」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていません(78ページ)。
	録音日時表示が「----年--月--日」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
自動時刻補正が働かない。		<ul style="list-style-type: none"> 時刻補正設定で自動時刻補正が設定されていません。 → 「自動時刻補正」を「オン」に設定してください(80ページ)。 AMラジオのPO1にNHK第1またはNHK第2が登録されています。 AMラジオの受信状態がよくありません。 → ラジオのアンテナを確認してください(24ページ)。 予約録音の動作中は自動時刻補正が働きません。 設定された時刻が3分以上ずれていると処理中に時報音が検出できないため、自動時刻補正が働きません。

分類	症状	原因／処置
表示	ポータブルラジオレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上の残量表示より短い。	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
ファイル	「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する(68ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダに199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル(フォルダが21個のとき)が入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する(68ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	メモリーカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください(21ページ)。 ポータブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください(22ページ)。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がない状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、ポータブルラジオレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ポータブルラジオレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ポータブルラジオレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンからポータブルラジオレコーダーを外し、再度接続してください。 USBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使って、ポータブルラジオレコーダーをパソコンに直接接続してください。 ポータブルラジオレコーダーが対応しているシステム構成(88ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
	ポータブルラジオレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示できるファイルは8階層目までです。 ポータブルラジオレコーダーで対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。ポータブルラジオレコーダーの仕様をご確認ください(102ページ)。
	パソコンが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → ポータブルラジオレコーダーをパソコンから外して起動してください。

こんなときは(Sound Organizer)

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none">ハードディスクの空き容量が不足しています。 → 容量を確認してください。Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとしています。 → 対応しているOS（ヘルプガイド参照）にインストールしてください。Windows 7またはWindows 8.1のGuestアカウントでログオンしています。 → 「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。日本語以外のOSにインストールしようとした。 → 日本語のOSにインストールしてください。
ポータブルラジオレコーダーと接続できない。	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。<ul style="list-style-type: none">- 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。- ポータブルラジオレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。- 他のUSBポートで接続してみてください。システムサスPEND／システムハイバーネーションモードに移行している。 → システムサスPEND／システムハイバーネーションモードに移行しないでください。内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップしたあとで、内蔵メモリーおよびメモリーカードをポータブルラジオレコーダーで初期化してください（82ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、またはパソコンから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">サウンドボードが付いていません。パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。ミュートが解除されていません。パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。）
保存したファイルが再生、編集できない。	<ul style="list-style-type: none">対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、Sound Organizerのヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、または雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度ポータブルラジオレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（*ポータブルラジオレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。）
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	<ul style="list-style-type: none">録音時間の長さに関係なく、ポータブルラジオレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	<ul style="list-style-type: none">録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	<ul style="list-style-type: none">ポータブルラジオレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ポータブルラジオレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 ホールドスイッチを解除してください	<ul style="list-style-type: none">ポータブルラジオレコーダーが誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(23ページ)。
電池が残りわずかです	<ul style="list-style-type: none">電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去などができません。内蔵充電式電池を充電してください(13ページ)。
充電してください	<ul style="list-style-type: none">電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください(13ページ)。
更新に必要な電池残量がありません	<ul style="list-style-type: none">電池残量が充分ではないため、ソフトウェアのアップデートができません。内蔵充電式電池を、電池マークが「FULL」になるまで充電してください(13ページ)。
メモリーカードエラー	<ul style="list-style-type: none">メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	<ul style="list-style-type: none">ポータブルラジオレコーダーが対応していないメモリーカードが使われています。「ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード」をご覧ください(21ページ)
メモリーカードがロックされています	<ul style="list-style-type: none">メモリーカードが書き込み禁止になっています。メモリーカードのロックを解除してください。
読み取り専用のメモリーカードです	<ul style="list-style-type: none">読み取り専用メモリーカードが使われています。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	<ul style="list-style-type: none">アクセスコントロール機能が働いているメモリーカードを挿入しました。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
メモリーが一杯です	<ul style="list-style-type: none">録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(68ページ)。
ファイルが一杯です	<ul style="list-style-type: none">フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(68ページ)。
登録が一杯です	<ul style="list-style-type: none">ラジオのプリセット登録は30件までです。未使用的プリセット登録を解除してください。
トラックマークが一杯です	<ul style="list-style-type: none">すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(73ページ)。
ファイルが壊れています	<ul style="list-style-type: none">選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です／メモリーカードの初期化が必要です	<ul style="list-style-type: none">パソコンでメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化したためUSB端子で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューでメモリーの初期化をしてください(82ページ)。パソコンで初期化しないでください。
処理を継続できません	<ul style="list-style-type: none">リスタートボタンを押して、ポータブルラジオレコーダーを再起動してください(90ページ)。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでポータブルラジオレコーダーのメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化してください(82ページ)。上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(127ページ)までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	<ul style="list-style-type: none">再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに挿入してください。
時計を設定してください	<ul style="list-style-type: none">時計合わせをしていないと、予約設定できません。
ファイルがありません	<ul style="list-style-type: none">選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動などの操作ができません。

メッセージ表示	原因
トラックマークがありません	<ul style="list-style-type: none"> トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
メモリーカードがありません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイル移動/コピー」はできません。
ファイルが保護されています	<ul style="list-style-type: none"> 選んだファイルが保護されているか、「読み取り専用」になっています。消去などできません。 ポータブルラジオレコーダーで保護を解除する(77ページ)か、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。
過去の日時です	<ul style="list-style-type: none"> 現在日時よりも前の日時で予約設定をしようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(78ページ)。
非対応のデータです	<ul style="list-style-type: none"> ポータブルラジオレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ポータブルラジオレコーダーが対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは「ポータブルラジオレコーダーの仕様」をご覧ください(102ページ)。 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	<ul style="list-style-type: none"> 再生専用エリアの「♫(ミュージック)」「◎(ポッドキャスト)」で管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 ファイルの長さが1秒未満やトラックマーク位置の前後0.5秒未満の位置では分割操作やトラックマーク操作ができません。
新しいファイルで録音を継続します	<ul style="list-style-type: none"> 録音中のファイルがファイルサイズの上限(LPCMは2GB、MP3は1GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
ファイル数が上限を超えたため分割できません	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください(68ページ)。
同名のファイルが存在します	<ul style="list-style-type: none"> 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	<ul style="list-style-type: none"> 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
シーンセレクトが解除されました	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに、メニューの録音モード、マイク感度設定、録音フィルター、VORの設定を変更すると、自動的に「シーンセレクト」が「オフ」に変更されます(47ページ)。
ラジオ受信する地域を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> ラジオを受信する地域が設定されていないと、放送局名を変更することはできません。地域を設定してください(79ページ)。
プリセット登録してください	<ul style="list-style-type: none"> 放送局(周波数)がプリセット登録されていないと、放送局名を変更することはできません。放送局をプリセット登録してください(30ページ)。
故障です	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。リストアボタンを押して、ポータブルラジオレコーダーを再起動してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(127ページ)までご連絡ください。
録音中は設定できません／録音中は変更できません	<ul style="list-style-type: none"> 録音中はメニューの「マイク感度設定」を「オート」に設定できません。また、「オート」から他の設定に変更することもできません。録音を一時停止してから、設定を変更してください。
再生中は操作できません	<ul style="list-style-type: none"> オプションメニューや各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいます。再生を停止してから、操作してください。

メッセージ表示	原因
録音中は操作できません	<ul style="list-style-type: none"> オプションメニュー や各種設定メニューで、録音中は実行できない項目を選んでいます。録音を停止してから、操作してください。
ラジオ中は操作できません	<ul style="list-style-type: none"> オプションメニュー や各種設定メニューで、ラジオ受信中は実行できない項目を選んでいます。ラジオ受信を終了してから、操作してください。
設定できません 予約nnと重複しています	<ul style="list-style-type: none"> 他の録音予約と時刻が重なっています。時刻を変更して録音予約設定をし直してください(42ページ)。 ※メッセージの「nn」は予約番号です。
予約録音中です 操作できません	<ul style="list-style-type: none"> 予約録音中はファンクションの切り換えなどの操作ができません。予約録音を止めてから操作してください(41ページ)。
曜日が選択されていません	<ul style="list-style-type: none"> 録音予約を「曜日設定」で設定する場合は、曜日を選んでください(40ページ)。
予約件数の上限20件を超えて います	<ul style="list-style-type: none"> 録音予約件数が最大になったため、新たに録音予約を設定できません。他の予約を削除してからやり直してください(42ページ)。
開始時刻と終了時刻が同じで す	<ul style="list-style-type: none"> 録音予約およびオンラインマーの終了時刻は開始時刻から1分後～23時間59分後に設定してください。
予約がありません	<ul style="list-style-type: none"> 録音予約が設定されていません。
放送局が登録されていません	<ul style="list-style-type: none"> 放送局を登録してください(30ページ)。
未登録です。登録時はボタン の長押しが必要です	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りラジオ局ボタンに放送局を登録してください(28ページ)。
設定できません 時計を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> 時計合わせをしていないと、自動時刻補正の設定ができません。時計を合わせてください(78ページ)。
設定できません AMラジオのプリセットP01 を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> 時報を利用した時刻の自動補正が設定できません。AMラジオのプリセットP01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。
フォルダがありません	<ul style="list-style-type: none"> ファイル移動やファイルコピーで選択できるフォルダがありません。

システム上の制約

ポータブルラジオレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	<ul style="list-style-type: none">様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。上記の理由により、実際に録音した時間(カウンター表示)の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	<ul style="list-style-type: none">パソコンを使って、ポータブルラジオレコーダーに転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつポータブルラジオレコーダーに転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	<ul style="list-style-type: none">録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限(LPCMは2 GB、MP3は1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまいます。	<ul style="list-style-type: none">パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">ポータブルラジオレコーダーで表示できない文字が使用されています。パソコンでポータブルラジオレコーダーで表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	<ul style="list-style-type: none">ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	<ul style="list-style-type: none">ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少くなります。

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A(よくある問い合わせ情報)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizerや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ(<http://rd1.sony.net/help/icd/r110/ja/>)で見ることができます。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口(127ページ)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではポータブルラジオレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

ポータブルラジオレコーダーの仕様

容量(ユーザー使用可能領域)¹⁾

16GB (約14.40GB=15,461,882,225バイト)

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

¹⁾ ポータブルラジオレコーダーで内蔵メモリーの初期化をした場合。

最大フォルダ数(1ドライブ内)

400フォルダ

最大ファイル数(1フォルダ内)

199ファイル

最大ファイル数(1ドライブ内)

4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)

周波数範囲

- LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO) : 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 192kbps (STEREO) : 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 128kbps (STEREO) : 50 Hz ~ 16,000 Hz
- MP3 48kbps (MONO) : 50 Hz ~ 14,000 Hz

再生対応ファイルフォーマット²⁾

²⁾ すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。サンプリング周波数によっては、規格外および保障外数値も含みます。

MP3³⁾

- ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート(VBR)対応
- サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子: .mp3

³⁾ これに加えてポータブルラジオレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

WMA⁴⁾

- ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、可変ビットレート(VBR)対応
- サンプリング周波数: 44.1 kHz
- 拡張子: .wma

⁴⁾ WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。

AAC-LC⁵⁾

- ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート(VBR)対応

・サンプリング周波数:

11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

・拡張子: .m4a

⁵⁾ 著作権保護されたファイルは再生できません。

リニアPCM

- ビットレート: 16 ビット
- サンプリング周波数: 44.1 kHz
- 拡張子: .wav

AMラジオ受信周波数

531 kHz ~ 1,629 kHz IF 9 kHz

AMアンテナ

フェライトバーアンテナ(内蔵)、ループアンテナ(付属、クレードル接続端子経由)

FMラジオ受信周波数

76.0 MHz ~ 108.0 MHz IF 100 kHz

FMアンテナ

ステレオヘッドホンコードアンテナ(付属)、FMラジオ用アンテナ接続端子経由(外部)

内蔵スピーカー

直径16 mm

入・出力端子

- 外部入力(ステレオミニジャック)
プラグインパワー対応 最小入力レベル: 1.0 mV
- ヘッドホン(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス: 16 Ω
- クレードル接続端子
- USB端子(USB micro-B端子) High-Speed USB 対応
- カードスロット
microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)

- 2.00倍速 ~ 0.50倍速: MP3/WMA/AAC-LC
- 1.00倍速 ~ 0.50倍速: リニアPCM

実用最大出力

250 mW

電源

DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池

動作温度

5 °C ~ 35 °C

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約47.0 mm × 112.6 mm × 13.7 mm
(幅／高さ／奥行き)

質量

約84 g

付属品

8ページ参照

別売アクセサリー

- エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
- USB ACアダプター
AC-UD20
- USBポータブル電源
最新の対応機器は
<http://www.sony.jp/battery/search/>
をご覧ください。

スピーカークレードルの仕様

スピーカー

直径40 mm

入・出力端子

入力端子

- 外部AMアンテナ接続端子
 - 外部FMアンテナ接続端子
 - DC入力 5.0 V
- 入出力端子
- 本体接続端子

実用最大出力

500 mW

電源

DC 5.0 V、ACアダプター（付属）使用時

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約134.0 mm × 67.5 mm × 74.0 mm
(幅／高さ／奥行き)

質量

約262 g

ポータブルラジオレコーダーの仕様および外観は、
改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

最大録音時間/再生時間

最大録音時間^{*1*2}

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン ^{*3})	内蔵メモリー	メモリーカード			
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	24時間20分	6時間5分	12時間10分	24時間20分	48時間40分
MP3 192kbps (////)	178時間	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps (/)	268時間	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	715時間	178時間	357時間	715時間	1,431時間

^{*1} 連続録音の場合は、付属のACアダプターが必要になります。詳しくは下記の電池の持続時間をご確認ください。

^{*2} 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

^{*3} お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間/ファイル数^{*4}

ピットレート	再生時間	曲数
256 kbps	134時間	2,010ファイル
128 kbps	268時間	4,020ファイル

^{*4} パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

内蔵充電式電池の持続時間^{*5}

■ファイル再生・ラジオ受信時

	モード	スピーカー再生時 ^{*6}	ヘッドホン再生時
録音 モード	LPCM	44.1 kHz/16 bit	約6時間
	MP3	192,128,48 kbps	約6時間
ラジオ 受信	FMラジオ受信	約4時間	約11時間
	AMラジオ受信	約5時間	約11時間

■マイク録音・ラジオ録音時

	モード	マイク録音時	FMラジオ録音 (スピーカー モニター)時	AMラジオ録音 (スピーカー モニター)時	FMラジオ録音 (ヘッドホン モニター)時	AMラジオ録音 (ヘッドホン モニター)時
録音 モード	LPCM	44.1 kHz/16 bit	約16時間	—	—	—
	MP3	192,128,48 kbps	約19時間	約4時間	約5時間	約11時間

^{*5} 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

^{*6} 音量レベルを29に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合

放送局名一覧

ポータブルラジオレコーダーには国内の以下の放送局の名前があらかじめ登録されています。この放送局名一覧は、各地域における代表的な放送局名を記載しています。(2017年8月現在)お使いになる場所によっては放送局名が異なる場合があります。

AM

地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)
北海道 (札幌)	NHK第1	567
	NHK第2	747
	HBCラジオ	1287
	STVラジオ	1440
北海道 (函館)	NHK第1	675
	NHK第2	1467
	HBCラジオ	900
	STVラジオ	639
	RABラジオ	1233
北海道 (旭川)	NHK第1	621
	NHK第2	1602
	HBCラジオ	864
	STVラジオ	1197
北海道 (室蘭)	NHK第1	945
	NHK第2	1125
	HBCラジオ	864
	STVラジオ	1440
北海道 (釧路)	NHK第1	585
	NHK第2	1152
	HBCラジオ	1404
	STVラジオ	882
北海道 (帶広)	NHK第1	603
	NHK第2	1125
	HBCラジオ	1269
	STVラジオ	1071

地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)
北海道 (北見)	NHK第1	1188
	NHK第2	702
	HBCラジオ	1449
	STVラジオ	909
青森	NHK第1	963
	NHK第2	1521
	STVラジオ	639
	IBCラジオ	684
	HBCラジオ	900
	ABSラジオ	936
	RABラジオ	1233
	AFN	1575
岩手	NHK第1	531
	NHK第2	1386
	IBCラジオ	684
	ABSラジオ	936
	RABラジオ	1233
	TBCラジオ	1260
宮城	NHK第1	891
	NHK第2	1089
	IBCラジオ	684
	YBCラジオ	918
	TBCラジオ	1260
	ラジオ福島	1458

地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)
秋田	NHK第1	1503
	NHK第2	774
	IBCラジオ	684
	YBCラジオ	918
	ABSラジオ	936
	RABラジオ	1233
山形	NHK第1	540
	NHK第2	1521
	YBCラジオ	918
	ABSラジオ	936
	BSNラジオ	1116
	TBCラジオ	1260
	ラジオ福島	1458
福島	NHK第1	1323
	NHK第2	1602
	YBCラジオ	918
	TBSラジオ	954
	文化放送	1134
	IBS茨城放送	1197
	ニッポン	1242
	放送	
群馬	NHK第1	594
	NHK第2	693
	AFN	810
	TBSラジオ	954
	文化放送	1134
	IBS茨城放送	1197
	ニッポン	1242
	放送	
埼玉	NHK第1	594
	NHK第2	693
	AFN	810
	TBSラジオ	954
	文化放送	1134
	IBS茨城放送	1197
	ニッポン	1242
	CRT栃木放送	1530
茨城	NHK第1	594
	NHK第2	693
	AFN	810
	TBSラジオ	954
	文化放送	1134
	IBS茨城放送	1197
	ニッポン	1242
	放送	
	ラジオ日本	1422
	CRT栃木放送	1530
岩手	TBCラジオ	1260
	ラジオ日本	1422
	ラジオ福島	1458
宮城	NHK第1	594
	NHK第2	693
	AFN	810
	TBSラジオ	954
	文化放送	1134
	IBS茨城放送	1197
	ニッポン	1242
	放送	
	ラジオ日本	1422
	CRT栃木放送	1530
福島	ラジオ日本	1422
	CRT栃木放送	1530

地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)
千葉	NHK第1	594	石川	NHK第1	1224	岐阜	NHK第1	729	京都	NHK第1	666
	NHK第2	693		NHK第2	1386		NHK第2	909		NHK第2	828
	AFN	810		KNBラジオ	738		CBCラジオ	1053		ラジオ関西	558
	TBSラジオ	954		FBCラジオ	864		東海ラジオ	1332		ABCラジオ	1008
	文化放送	1134		MROラジオ	1107		ぎふチャン	1431		KBS京都ラ	1143
	IBS茨城放送	1197		BSNラジオ	1116	静岡	NHK第1	882		ジオ	
	ニッポン放送	1242	福井	NHK第1	927		NHK第2	639		MBSラジオ	1179
	ラジオ日本	1422		NHK第2	1521		YBSラジオ	765		ラジオ大阪	1314
東京	NHK第1	594		KNBラジオ	738		TBSラジオ	954	大阪	NHK第1	666
	NHK第2	693		FBCラジオ	864		CBCラジオ	1053		NHK第2	828
	AFN	810		ABCラジオ	1008		文化放送	1134		ラジオ関西	558
	TBSラジオ	954		MROラジオ	1107		ニッポン放送	1242		ABCラジオ	1008
	文化放送	1134		KBS京都ラ	1143		東海ラジオ	1332		KBS京都ラ	1143
	ニッポン放送	1242		ジオ			SBSラジオ	1404		ジオ	
	ラジオ日本	1422		MBSラジオ	1179		ラジオ日本	1422		MBSラジオ	1179
神奈川	NHK第1	594	山梨	NHK第1	927	愛知	NHK第1	729	兵庫	NHK第1	666
	NHK第2	693		NHK第2	1602		NHK第2	909		NHK第2	828
	AFN	810		YBSラジオ	765		CBCラジオ	1053		ラジオ関西	558
	TBSラジオ	954		TBSラジオ	954		東海ラジオ	1332		ABCラジオ	1008
	文化放送	1134		SBCラジオ	1098		ぎふチャン	1431		KBS京都ラ	1143
	ニッポン放送	1242		文化放送	1134	三重	NHK第1	729		ジオ	
	ラジオ日本	1422		ニッポン放送	1242		NHK第2	909		MBSラジオ	1179
新潟	NHK第1	837		SBSラジオ	1404		CBCラジオ	1053		JRTラジオ	1269
	NHK第2	1593	長野	NHK第1	819		東海ラジオ	1332		ラジオ大阪	1314
	KNBラジオ	738		NHK第2	1467		ぎふチャン	1431		WBSラジオ	1431
	YBCラジオ	918		YBSラジオ	765	滋賀	NHK第1	666	奈良	NHK第1	666
	SBCラジオ	1098		TBSラジオ	954		NHK第2	828		NHK第2	828
	BSNラジオ	1116		CBCラジオ	1053		ラジオ関西	558		ラジオ関西	558
富山	NHK第1	648		SBCラジオ	1098		ABCラジオ	1008		ABCラジオ	1008
	NHK第2	1035		BSNラジオ	1116		KBS京都ラ	1143		KBS京都ラ	1143
	KNBラジオ	738		文化放送	1134		ジオ			ジオ	
	FBCラジオ	864		ニッポン放送	1242		MBSラジオ	1179		MBSラジオ	1179
	MROラジオ	1107		放送			ラジオ大阪	1314		ラジオ大阪	1314
	BSNラジオ	1116		東海ラジオ	1332		ぎふチャン	1431		WBSラジオ	1431
				SBSラジオ	1404						

地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)									
和歌山	NHK第1	666	広島	NHK第1	1071	香川	NHK第1	1368	福岡	NHK第1	612
	NHK第2	828		NHK第2	702		NHK第2	1035		NHK第2	1017
	ラジオ関西	558		KRYラジオ	765		ラジオ関西	558		KRYラジオ	765
	ABCラジオ	1008		BSSラジオ	900		RKCラジオ	900		OBSラジオ	1098
	KBS京都ラ	1143		ABCラジオ	1008		ABCラジオ	1008		RKKラジオ	1197
	ジオ			南海放送ラ	1116		南海放送ラ	1116		NBCラジオ	1233
	MBSラジオ	1179		ジオ			ジオ			RKBラジオ	1278
	JRTラジオ	1269		MBSラジオ	1179		MBSラジオ	1179		KBCラジオ	1413
	ラジオ大阪	1314		ラジオ大阪	1314		JRTラジオ	1269		NBCラジオ	1458
	WBSラジオ	1431		RCCラジオ	1350		ラジオ大阪	1314		佐賀	
鳥取	NHK第1	1368		RNCラジオ	1449		RNCラジオ	1449	北九州	NHK第1	540
	NHK第2	1125		RSKラジオ	1494		RSKラジオ	1494		NHK第2	1602
	ラジオ関西	558	山口	NHK第1	675	愛媛	NHK第1	963		KBCラジオ	720
	KRYラジオ	765		NHK第2	1377		NHK第2	1512		KRYラジオ	765
	BSSラジオ	900		KBCラジオ	720		KRYラジオ	765		OBSラジオ	1098
	ABCラジオ	1008		KRYラジオ	765		RKCラジオ	900		RKBラジオ	1197
	MBSラジオ	1179		BSSラジオ	900		OBSラジオ	1098	佐賀	NHK第1	963
	ラジオ大阪	1314		南海放送ラ	1116		南海放送ラ	1116		NHK第2	1017
	RCCラジオ	1350		ジオ			ジオ			RKKラジオ	1197
	RSKラジオ	1494		RKBラジオ	1197		JRTラジオ	1269		NBCラジオ	1233
島根	NHK第1	1296		RCCラジオ	1350		RNCラジオ	1449		RKBラジオ	1278
	NHK第2	1593		AFN	1575	高知	NHK第1	990		KBCラジオ	1413
	KRYラジオ	765	徳島	NHK第1	945		NHK第2	1152		NBCラジオ	1458
	BSSラジオ	900		NHK第2	828		RKCラジオ	900		佐賀	
	RCCラジオ	1350		ラジオ関西	558		ABCラジオ	1008	長崎	NHK第1	684
	RSKラジオ	1494		RKCラジオ	900		南海放送ラ	1116		NHK第2	1377
岡山	NHK第1	603		ABCラジオ	1008		ジオ			RKKラジオ	1197
	NHK第2	1386		南海放送ラ	1116		MBSラジオ	1179		NBCラジオ	1233
	ラジオ関西	558		ジオ			JRTラジオ	1269		RKBラジオ	1278
	BSSラジオ	900		MBSラジオ	1179		ラジオ大阪	1314		KBCラジオ	1413
	ABCラジオ	1008		JRTラジオ	1269		RNCラジオ	1449		NBCラジオ	1458
	MBSラジオ	1179		ラジオ大阪	1314					佐賀	
	ラジオ大阪	1314		RNCラジオ	1449					AFN	1575
	RCCラジオ	1350									
	RNCラジオ	1449									
	RSKラジオ	1494									

FM		
地域 設定	放送局名	周波数 (kHz)
地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)
熊本	NHK第1	756
	NHK第2	873
	MRTラジオ	936
	MBCラジオ	1107
	RKKラジオ	1197
	NBCラジオ	1233
	RKBラジオ	1278
	KBCラジオ	1413
	NHK第1	639
	NHK第2	1467
大分	OBSラジオ	1098
	南海放送ラ ジオ	1116
	RKBラジオ	1278
	KBCラジオ	1413
	NHK第1	540
	NHK第2	1467
	MRTラジオ	936
	MBCラジオ	1107
	RKKラジオ	1197
	NHK第1	576
宮崎	NHK第2	1386
	MRTラジオ	936
	MBCラジオ	1107
	RKKラジオ	1197
	NHK第1	576
	NHK第2	1386
	MRTラジオ	936
	MBCラジオ	1107
	RKKラジオ	1197
	NHK第1	549
鹿児島	NHK第2	1125
	AFN	648
	RBCラジオ	738
	ROKラジオ	864
	NHK第1	549
	NHK第2	1125
	AFN	648
	RBCラジオ	738
	ROKラジオ	864
	NHK第1	549
沖縄	NHK第2	1125
	AFN	648
	RBCラジオ	738
	ROKラジオ	864
	NHK第1	549
	NHK第2	1125
	AFN	648
	RBCラジオ	738
	ROKラジオ	864
	NHK第1	549
地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)
青森	NHK-FM	86.0
	エフエム	76.1
岩手	NORTH	79.4
	WAVE	
	STVラジオ*	90.4
	HBCラジオ*	91.5
北海道	NHK-FM	87.0
(函館)	AIR-G'	88.8
	NORTH	79.4
	WAVE	
	エフエム	80.0
青森		
北海道	NHK-FM	85.8
(旭川)	AIR-G'	76.4
	NORTH	79.8
	WAVE	
北海道	NHK-FM	88.0
(室蘭)	AIR-G'	89.4
	NORTH	82.5
	WAVE	
北海道	NHK-FM	88.5
(釧路)	AIR-G'	86.4
	NORTH	80.7
	WAVE	
北海道	NHK-FM	87.5
(帯広)	AIR-G'	78.5
	NORTH	82.1
	WAVE	
北海道	NHK-FM	86.0
(北見)	AIR-G'	83.1
	NORTH	79.8
	WAVE	
青森	NHK-FM	86.0
	エフエム	76.1
岩手	Date fm	77.1
	エフエム	80.0
青森		
岩手	エフエム	82.8
	秋田	
	IBCラジオ*	90.6
宮城	NHK-FM	82.5
	エフエム	76.1
岩手		
	Date fm	77.1
	エフエム	80.4
山形		
	ふくしま	81.8
	FM	
	TBC-FM*	93.5
秋田	NHK-FM	86.7
	エフエム	76.1
岩手		
	エフエム	80.0
青森		
岩手	エフエム	80.4
	山形	
	エフエム	82.8
秋田		
	ABSラジオ*	90.1
山形	NHK-FM	82.1
	Date fm	77.1
	FM PORT	77.5
	エフエム	80.4
山形		
	ふくしま	81.8
	FM	
	エフエム	82.8
秋田		
福島	NHK-FM	85.3
	Date fm	77.1
	TOKYO FM	80.0
	エフエム	80.4
山形		
	J-WAVE	81.3
	ふくしま	81.8
	FM	
	InterFM	89.7
	897	
	ラジオ福島*	90.8
茨城	NHK-FM	83.2
	RADIO	76.4
	BERRY	
	放送大学	77.1
	bayfm	78.0
	NACK5	79.5
	TOKYO FM	80.0
	J-WAVE	81.3
	FMヨコハ マ	84.7
	FM	86.3
	GUNMA	
	InterFM	89.7
	897	
	TBSラジオ*	90.5
	文化放送*	91.6
	ニッポン 放送*	93.0
	i-fm*	94.6

地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)									
栃木	NHK-FM	80.3	埼玉	NHK-FM	85.1	東京	NHK-FM	82.5	富山	NHK-FM	81.5
	RADIO	76.4		RADIO	76.4		放送大学	77.1		FM福井	76.1
	BERRY			BERRY			bayfm	78.0		FM-	77.5
	放送大学	77.1		放送大学	77.1		FM-FUJI	78.6		NIIGATA	
	bayfm	78.0		bayfm	78.0		NACK5	79.5		FM PORT	79.0
	NACK5	79.5		FM-FUJI	78.6		TOKYO FM	80.0		エフエム	80.5
	TOKYO FM	80.0		NACK5	79.5		J-WAVE	81.3		石川	
	J-WAVE	81.3		TOKYO FM	80.0		FMヨコハ	84.7		FMとやま	82.7
	FMヨコハ	84.7		J-WAVE	81.3		マ			KNBラジオ*	90.2
	マ			FMヨコハ	84.7		InterFM	89.7		石川	NHK-FM
	FM	86.3		マ			897			FM福井	76.1
	GUNMA			FM	86.3		TBSラジオ*	90.5		FM-	77.5
	InterFM	89.7		GUNMA			文化放送*	91.6		NIIGATA	
	897			InterFM	89.7		ニッポン	93.0		FM PORT	79.0
	TBSラジオ*	90.5		897			放送*			エフエム	80.5
	文化放送*	91.6		TBSラジオ*	90.5		神奈川	NHK-FM	81.9	石川	
	ニッポン	93.0		文化放送*	91.6		放送大学	77.1		FMとやま	82.7
	放送*			ニッポン	93.0		bayfm	78.0		MROラジオ*	94.0
	i-fm*	94.6		放送*			FM-FUJI	78.6		福井	NHK-FM
群馬	NHK-FM	81.6	千葉	NHK-FM	80.7		897			FM福井	76.1
	RADIO	76.4		放送大学	77.1		NACK5	79.5		FM	76.5
	BERRY			bayfm	78.0		TOKYO FM	80.0		COCOLO	
	放送大学	78.8		FM-FUJI	78.6		J-WAVE	81.3		FM802	80.2
	NACK5	79.5		NACK5	79.5		FMヨコハ	84.7		エフエム	80.5
	TOKYO FM	80.0		TOKYO FM	80.0		マ			石川	
	J-WAVE	81.3		J-WAVE	81.3		InterFM	89.7		FMとやま	82.7
	FM	86.3		FMヨコハ	84.7		897			FM OH!	85.1
	GUNMA			マ			TBSラジオ*	90.5		α	89.4
	InterFM	89.7		InterFM	89.7		文化放送*	91.6		-STATION	
	897			897			ニッポン	93.0		FBCラジオ*	94.6
	TBSラジオ*	90.5		TBSラジオ*	90.5		放送*			山梨	NHK-FM
	文化放送*	91.6		文化放送*	91.6		新潟	NHK-FM	82.3	85.6	
	ニッポン	93.0		ニッpon	93.0		FM-	77.5		K-mix	79.2
	放送*			放送*			NIIGATA			FM長野	79.7

地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)
長野	NHK-FM	84.0	愛知	NHK-FM	82.5	京都	NHK-FM	82.8	兵庫	NHK-FM	86.5
	FM-	77.5		ZIP-FM	77.8		FM	76.5		FM	76.5
	NIIGATA			レディオ	78.9		COCOLO			COCOLO	
	FM PORT	79.0		キューブ			e-radio	77.0		FM802	80.2
	K-mix	79.2		FM三重			FM802	80.2		FM徳島	80.7
	FM長野	79.7		Radio NEO	79.5		FM OH!	85.1		FM OH!	85.1
	FM-FUJI	83.0		FM GIFU	80.0		α	89.4		α	89.4
	NHK-FM	83.6		@FM	80.7		-STATION			-STATION	
	ZIP-FM	77.8		東海ラジオ*	92.9		Kiss FM	89.9		Kiss FM	89.9
	レディオ	78.9		CBCラジオ*	93.7		KOBE			KOBE	
岐阜	キューブ		三重	NHK-FM	81.8		MBS-	90.6	奈良	MBS-	90.6
	FM三重			ZIP-FM	77.8		FM90.6*			FM90.6*	
	Radio NEO	79.5		レディオ	78.9		ラジオ大阪*	91.9		ラジオ大阪*	91.9
	FM GIFU	80.0		キューブ			ABCラジオ*	93.3		ABCラジオ*	93.3
	@FM	80.7		FM三重			NHK-FM	88.1		NHK-FM	87.4
	東海ラジオ*	92.9		Radio NEO	79.5		FM	76.5		FM	76.5
	CBCラジオ*	93.7		FM GIFU	80.0		COCOLO			COCOLO	
	NHK-FM	88.8		@FM	80.7		e-radio	77.0		e-radio	77.0
	ZIP-FM	77.8		東海ラジオ*	92.9		FM802	80.2		FM802	80.2
	K-mix	79.2		CBCラジオ*	93.7		FM OH!	85.1		FM OH!	85.1
静岡	Radio NEO	79.5	滋賀	NHK-FM	84.0		α	89.4		α	89.4
	TOKYO FM	80.0		FM	76.5		-STATION			-STATION	
	@FM	80.7		COCOLO			Kiss FM	89.9		Kiss FM	89.9
	J-WAVE	81.3		e-radio	77.0		KOBE			KOBE	
	FM-FUJI	83.0		FM GIFU	80.0		MBS-	90.6		MBS-	90.6
	FMヨコハ	84.7		FM802	80.2		FM90.6*			FM90.6*	
	マ			FM OH!	85.1		ラジオ大阪*	91.9		ラジオ大阪*	91.9
	InterFM	89.7		α	89.4		ABCラジオ*	93.3		ABCラジオ*	93.3
	897			-STATION			NHK-FM	88.1		NHK-FM	87.4
	TBSラジオ*	90.5		Kiss FM	89.9		FM	76.5		FM	76.5
文化放送*	文化放送*	91.6		KOBE			COCOLO			COCOLO	
	ニッポン	93.0		MBS-	90.6		e-radio	77.0		e-radio	77.0
	放送*			FM90.6*			FM802	80.2		FM802	80.2
	SBSラジオ*	93.9		ラジオ大阪*	91.9		FM OH!	85.1		FM OH!	85.1
				ABCラジオ*	93.3		α	89.4		α	89.4

地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)
和歌山	NHK-FM	84.7	岡山	NHK-FM	88.7	徳島	NHK-FM	83.4	福岡	NHK-FM	84.8
	FM	76.5		FM	76.5		FM	76.5		LOVE FM	76.1
	COCOLO			COCOLO			COCOLO			エフエム	77.4
e-radio	77.0		FM岡山	76.8		FM香川	78.6		エフエム	77.9	
FM802	80.2		V-air エフ	77.4		FM愛媛	79.7		佐賀		
FM徳島	80.7		エム山陰			FM802	80.2				
FM OH!	85.1		広島FM	78.2		FM徳島	80.7				
α	89.4		FM香川	78.6		FM高知	81.6				
-STATION			FM802	80.2		FM OH!	85.1				
Kiss FM	89.9		FM OH!	85.1		Kiss FM	89.9				
KOBE			Kiss FM	89.9		KOBE					
MBS-FM90.6*	90.6		KOBE			香川	NHK-FM	86.0			
ラジオ大阪*	91.9		広島	NHK-FM	88.3		FM	76.5		FUKUOKA	
ABCラジオ*	93.3			FM岡山	76.8		COCOLO			エフエム大	88.0
和歌山放送	94.2			V-air エフ	77.4		FM岡山	76.8		分	
FM*				エム山陰			FM香川	78.6		KBCラジオ*	90.2
鳥取	NHK-FM	85.8		広島FM	78.2		FM愛媛	79.7		RKBラジオ*	91.0
	FM	76.5		FM香川	78.6		FM802	80.2		RKKラジオ*	91.4
	COCOLO			エフエム山	79.2		FM徳島	80.7		北九州	NHK-FM
	FM岡山	76.8		口			FM高知	81.6		85.7	
	広島FM	78.2		FM愛媛	79.7		FM OH!	85.1		cross fm	77.0
	V-air エフ	78.8		RCC-FM*	94.6		Kiss FM	89.9		エフエム	79.2
	エム山陰		山口	NHK-FM	85.3		KOBE			山口	
	エフエム	79.2		cross fm	77.0		愛媛	NHK-FM	87.7		
	山口			V-air エフ	77.4		FM香川	78.6		LOVE FM	82.7
	FM802	80.2		エム山陰			エフエム	79.2		エフエム	88.0
	FM OH!	85.1		広島FM	78.2		山口			大分	
	Kiss FM	89.9		エフエム	79.2		FM愛媛	79.7		RKBラジオ*	91.5
	KOBE			山口			FM徳島	80.7		KBCラジオ*	94.0
	BSSラジオ*	92.2		FM愛媛	79.7		FM高知	81.6			
島根	NHK-FM	84.5		FM	80.0		エフエム	88.0			
	FM岡山	76.8		FUKUOKA			大分				
	V-air エフ	77.4		LOVE FM	82.7		エフナン*	91.7			
	エム山陰			RKBラジオ*	91.5		高知	NHK-FM	87.5		
	広島FM	78.2		エフエム	92.3		FM香川	78.6			
	エフエム	79.2		KRY*			FM愛媛	79.7			
	山口			KBCラジオ*	94.0		FM徳島	80.7			
				RCC-FM*	94.6		FM高知	81.6			

地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)	地域 設定	放送局名	周波数 (MHz)
佐賀	NHK-FM	81.6	熊本	NHK-FM	85.4	鹿児島	NHK-FM	85.6
	LOVE FM	76.1		LOVE FM	76.1		エフエム	77.4
	エフエム	77.4		エフエム	77.4		熊本	
熊本			熊本				ミューエフ	79.8
	エフエム	77.9		cross fm	78.7		エム	
佐賀				エフエム	79.5		JOY FM	83.2
	cross fm	78.7		長崎			NHK第1*	80.3
	エフエム	79.5		ミューエフ	79.8		NHK第2*	78.8
長崎				エム			RKKラジオ*	91.4
	FM	80.7		FM	80.7		MBCラジオ*	92.8
	FUKUOKA			FUKUOKA				
	KBCラジオ*	90.2		JOY FM	83.2	沖縄	NHK-FM	88.1
	RKBラジオ*	91.0		RKKラジオ*	91.4		エフエム	87.3
	RKKラジオ*	91.4		NBCラジオ*	92.6		沖縄	
	NBCラジオ*	92.6	大分	NHK-FM	88.9		AFN	89.1
	NBCラジオ	93.5		LOVE FM	76.1		NHK第1*	83.5
佐賀*				cross fm	78.7		NHK第2*	80.3
長崎	NHK-FM	84.5		FM愛媛	79.7		ROKラジオ*	80.1
	LOVE FM	76.1		FM	80.7		RBCラジオ*	82.6
	エフエム	77.4		FUKUOKA				
熊本				エフエム	88.0			
	エフエム	77.9		大分				
佐賀				KBCラジオ*	90.2			
	cross fm	78.7		RKBラジオ*	91.0			
	エフエム	79.5		エフナン*	91.7			
長崎				OBSラジオ*	93.3			
	FM	80.7	宮崎	NHK-FM	86.2			
	FUKUOKA			エフエム	77.4			
	NBCラジオ*	92.6		熊本				
				ミューエフ	79.8			
				エム				
				JOY FM	83.2			
				MRTラジオ*	90.4			

* FM補完局

表示窓について

ホームメニュー操作時の表示窓



■ ご注意

記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。また、選んでいるファイルによっては実際には表示されない項目も説明のために表示している場合があります。

① ホームメニュー表示

以下のメニューを選択できます。

◎ : ポッドキャスト

♪ : ミュージック

□ : 録音したファイル

📻 : AMラジオ

📻 : FMラジオ

⌚ : マイク録音

⌚ : オーディオ入力

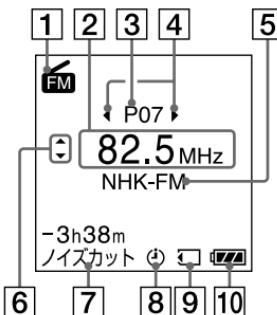
⚙️ : 各種設定

➡️ : XX画面へ(XXには、現在使用している機能が表示されます。)

② 現在時刻表示

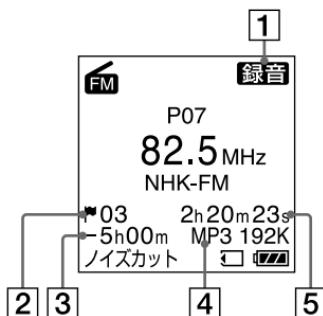
現在の時刻が表示されます。

ラジオ受信時



- ① AMラジオ／FMラジオマーク
AMラジオ／FMラジオ受信時に表示されます。
- ② 受信周波数
▶◀ または ▶▶ を押して、プリセット番号を切り換えることができます。
- ③ プリセット番号
- ④ プリセット切り換え操作ガイド
◀◀ または ▶▶ を押して、受信周波数を切り換えることができます。
- ⑤ 放送局名表示
プリセットに放送局名が登録されているときに表示されます。
- ⑥ 受信周波数切り換えガイド(▲／▼)
▲または▼を押して、受信周波数を切り換えることができます。
- ⑦ ノイズカット表示
メニューでラジオノイズカットが「オン」に設定されているときに表示します。
- ⑧ 予約表示
録音予約やオントайマーが設定されているときに表示されます。
- ⑨ メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。
- ⑩ 電池マーク

ラジオ録音時



① 動作モード表示

ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

録音 : 録音中

■ II : 録音一時停止中に点滅

② トラックマーク表示

現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

③ 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。10時間以上の場合は表示されません。

10分以上、10時間未満の場合：時間と分

10分未満の場合：分と秒

④ 録音モード表示

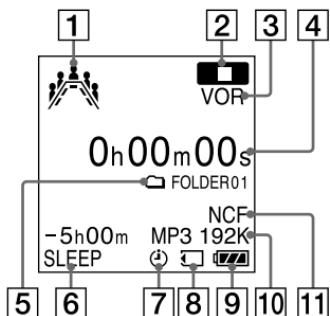
録音されているファイルの録音モードが表示されます。

リニアPCMでは、ラジオを録音できません。

⑤ 録音経過時間表示

1ファイルの録音経過時間を表示します。

停止時



① シーンセレクト設定／内蔵マイク感度設定表示

選択しているシーンまたはメニューで設定されている内蔵マイク感度設定が表示されます。

i : おまかせボイス

会議

講義

ボイスメモ

インタビュー

歌・音楽

Myシーン1

Myシーン2

マイク感度 オート

マイク感度 高

マイク感度 中

マイク感度 低

マイク感度 高(音楽)

マイク感度 低(音楽)

② 動作モード表示

ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

■ : 停止中

③ VOR録音表示

VOR : VOR録音を「オン」に設定中に表示されます。

④ 経過時間

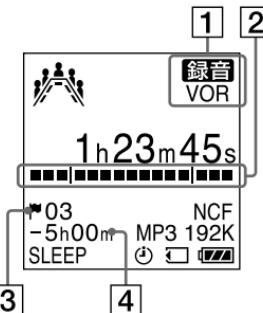
1ファイルの経過時間が表示されます。

⑤ フォルダ名表示

録音先のフォルダ名が表示されます。

- [6] スリープタイマー表示**
スリープタイマーが設定されているときに表示されます。
- [7] 予約表示**
録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。
- [8] メモリーカード表示**
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。
- [9] 電池マーク**
- [10] 録音モード表示**
メニューで設定されている録音モードが表示されます。
- [11] 録音フィルター表示**
録音フィルターの設定が表示されます。
NCF : NCF(Noise Cut)に設定されているときに表示されます。
LCF : LCF(Low Cut)に設定されているときに表示されます。

録音時



[1] 動作モード表示

ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

録音 : 録音中

● II : 録音一時停止中に点滅

録音／VOR : VOR録音中

● II／VOR : VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに
録音／一時停止ボタンを押して録音を一時
停止すると**● II**だけが点滅します。

録音／SYNC : シンクロ録音中

● II／SYNC : シンクロ録音一時停止中に
点滅

[2] 録音レベルガイド

録音時、録音音量の目安に、入力されている音量のレベルと最適音量域を表示します。

[3] トランクマーク表示

現在位置のトランクマーク番号が表示されます。トランクマークが設定されているときにだけ表示されます。

[4] 録音可能時間表示

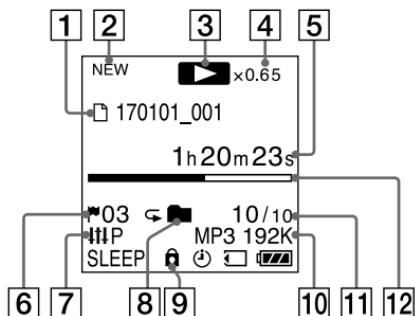
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

10時間以上の場合は表示されません。

10分以上、10時間未満の場合：時間と分

10分未満の場合：分と秒

再生時



① ファイル情報表示

再生中のファイルの情報が表示されます。
ポータブルラジオレコーダーで録音された
ファイルは、下記のように表示されます。

□：ファイル名を表示：年月日_番号(例：
170101_001)

音楽ファイルやポッドキャストのファイル
は、下記の情報が5秒ごとに切り替わって表
示されます。

●：アーティスト名を表示：My Recording
♪：タイトル名を表示：年月日_番号(例：
170101_001)

② ポッドキャスト新着情報

Sound Organizerから新しいポッドキャス
トファイルが転送された場合に表示されま
す。一度再生すると表示は消えます。

③ 動作モード表示

ポータブルラジオレコーダーの動作状態に
応じて下記のように表示されます。

▶：再生中

◀▶：早戻し／早送り再生中

◀◀▶▶：連続ファイル戻し／送り

④ 再生速度表示

DPC (速度調節)が「オン」に設定されている
場合、設定されている再生速度を表示しま
す。

⑤ 経過時間表示

1ファイルの経過時間を表示します。

⑥ トラックマーク表示

現在位置のトラックマーク番号が表示され

ます。トラックマークが設定されていると
きにだけ表示されます。

⑦ エフェクト表示

音楽ファイルやポッドキャストファイルを
再生している場合、音質を切り替えている
とき表示されます。

■P：ポップス

■R：ロック

■J：ジャズ

■BA1：ベース1

■BA2：ベース2

■C：カスタム

⑧ 再生モード表示

1:1ファイル

■：フォルダ

ALL：全ファイル

◀1:1ファイルリピート

◀■：フォルダ内ファイルリピート

◀ALL：全ファイルリピート

⑨ 保護マーク

ファイルが保護されているときに表示され
ます。

⑩ 録音モード表示

再生されているファイルの録音モードが表
示されます。

⑪ ファイル位置情報表示

選んだファイル番号が分子に、フォルダ内
の総ファイル数が分母に表示されます。

⑫ 再生位置表示

現在の再生位置を表示します。

フォルダ一覧表示時



① エリア表示

録音可能エリア、再生専用エリアを表示します。

□ 録音したファイル：録音可能エリア。ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを管理します。

♪ ミュージック：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理します。(フォルダ、ファイルがない場合は、表示されません。)

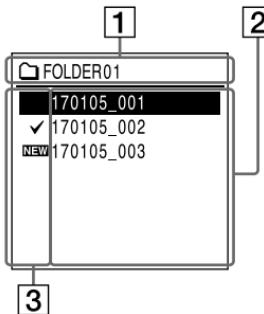
◎ ポッドキャスト：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理します。(フォルダ、ファイルがない場合は、表示されません。)

② フォルダ

選択したエリア内のフォルダが表示されます。

一行目の「最後に録音したファイル」は、「♪(ミュージック)」または「◎(ポッドキャスト)」を選んだ場合は、表示されません。

ファイル一覧表示時



① フォルダ表示

フォルダアイコンとフォルダ名が表示されます。

② ファイル一覧

フォルダに保存されているファイル名が一覧表示されます。

③ 現在位置表示／ポッドキャスト新着情報

✓：現在選択されているファイルに表示されます。(ポッドキャスト新着情報より優先表示されます。)

NEW：Sound Organizerから新しいポッドキャストファイルが転送された場合に表示されます。

オーディオ入力時



① オーディオ入力マーク

② オーディオ入力表示

③ フォルダ名表示

録音先のフォルダ名が表示されます。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですのでやめください。

取り扱いについて

- 落したり、重いものを乗せたり、強いショックを与えると、圧力をかけないでください。
ポータブルラジオレコーダーの故障の原因となります。
- ポータブルラジオレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - ポータブルラジオレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - ポータブルラジオレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60°C以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ポータブルラジオレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでポータブルラジオレコーダーを胸ポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - 汗をかく状況での使用。
濡れた手で触ったり、汗をかいだ衣服のポケットにポータブルラジオレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがあります。ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただすことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にポータブルラジオレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ポータブルラジオレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

ポータブルラジオレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化(82ページ)を行い、すべてのデータを削除してください。

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
(「ソニーの相談窓口」の連絡先は127ページに記載されています。)



Li-ion

ACアダプターを使用するときのご注意

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いて下さい。

microSDカードのご使用について

- 初期化(フォーマット)は必ず本機で行ってください(82 ページ)。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されている間や、録／再ランプがオレンジ色に点滅している間はmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- microSDXCカード(64GB以上)は、ご使用になれません。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書き込み禁止のmicroSDカードは、使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
 - 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を開め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。
- ラベルなどを貼らないでください。
- microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。

⚠ 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れない



禁止

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。
そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止

充電式電池が液漏れしたときは、素手で液を触らない。

液が本体内部に残ることがあるため、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

液が目にに入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



禁止

ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

付属以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。
破損や加熱などにより、火災やけが、周囲の破損の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることができます。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行なうことは、著作権法上禁止されています。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- macOSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- microSD、microSDHC および microSDXC ロゴはSD-3C, LLC. の商標です。



その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ライセンスについて

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

索引

アルファベット

A-Bリピート	65
ACアダプター	12
AMアンテナ	11
DPC (Digital Pitch Control)	65
FMアンテナ	12
LCF(Low Cut)	47
MP3	102
Myシーン	46
NCF(Noise Cut)	47
Sound Organizer	96

あ行

アフターサービス	101
イージーサーチ機能	63
エフェクト	66
オーディオコード	54
オーディオ入力	51, 52, 84
オートスキャン選局	27
オートパワーオフ	82
オートプリセット	30
お気に入りラジオ局	28
登録する	28
お手入れ	118
オプションメニュー項目一覧	
FMラジオ	84
ポッドキャスト	84
マイク録音	84
ミュージック	84
録音したファイル	84
オンタイマー	33
音量調節	26, 56, 60, 62

か行

外部入力選択	49, 51, 52
外部マイク	49
書き起こし用再生	67

各部のなまえ	9
スピーカークレードル	10
表示窓	113
本体(裏面)	10
本体(表面)	9
基本操作	18
キー	64
現在位置分割	75
現在いる地域を設定する	16, 79
誤操作を防止する	23
困ったときは	89

さ行

再生する	
カレンダーから再生する	57
ラジオ録音を再生する	55
再生モード	64
サポートホームページ	101
時刻表示形式	82
時刻補正	80
時刻補正を設定する	80
時刻を自動で補正する	17
システム構成	88
システム上の制約	100
自動時刻補正	17
自動時刻補正を設定する	17
自動トラックマーク	72
充電する	13
周波数	27
仕様	102
使用上のご注意	118
初期設定	15
シンクロ録音機能	52
スキヤン感度	36
スピーカークレードル	11, 63
スリープタイマー	35
設定項目一覧	81
設定初期化	82
操作音	81
操作音を設定する	15

た行

タイマー	33
オン	33
スリープ	35
地域	16
地域一覧	16
電源を入れる	14
電池残量表示	13
電池の持続時間	104
時計を合わせる	15, 78
トラックマーク	72
トラックマーク消去	73
トラックマーク全消去	74
トラックマーク全分割	76

な行

内蔵充電式電池	104
ノイズ	118

は行

パソコン	85
パソコンにつなぐ	85
バックライト	81
早送り／早戻し(キー／レビュー)	64
ファイル	
移動	70
消去	68
別のメモリーにコピー	71
ファイルを移動	70
ファイルをコピーする	71
ファイルを消去	68
ファイルを分割	75
ファイルを保護	77
フォルダ	70, 85
フォルダとファイルの構成	85
フォルダ内消去	69
プリセット登録	30
ヘッドホン	63
ヘルプガイド	101
放送局名一覧	105
放送局名変更	32
ホームメニュー	18

AMラジオ	18
FMラジオ	18
XX画面へ	18
オーディオ入力	18
オプションメニュー	19
各種設定	18
ポッドキャスト	18
マイク録音	18
ミュージック	18
録音したファイル	18
ホールド	23
他の機器に音声を録音	54
保護	77
保証書	101
本体情報	83

ま行

マイク感度設定	47
マニュアルスキャン選局	27
メッセージ表示一覧	97
メニュー	78
オートパワーオフ	82
設定初期化	82
操作音	81
本体情報	83
メモリー切り換え	82
メモリー初期化	82
録音可能時間	83
録音フィルター	47
メモリーカード	21, 115
メモリー切り換え	22, 82
メモリー初期化	82

ら行

ラジオ	
スキャン感度の設定	36
プリセット登録	30
ラジオノイズカット	36
ラジオを聞く	24
ランプ	81
リストア	90
レビュー	44, 64
録音一時停止	38
録音可能時間	83

録音シーンを選ぶ	45
録音時間	104
録音する	
VOR録音	48
外部マイク録音	49
受信中のラジオの録音	37
他の機器の音声の録音	52
マイク録音	43
ラジオの予約録音	39
録音フィルター	47
録音モード設定	47
録音レベルガイド ^a	44

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

→ ポータブルラジオレコーダー サポート・お問い合わせへ

(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)

ポータブルラジオレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

電話・FAXでのお問い合わせは

→ ソニーの相談窓口へ

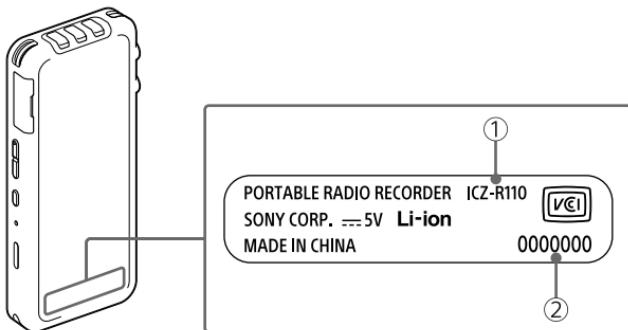
(次ページに記載の電話・FAX番号)

本機の商品カテゴリーは[ポータブルラジオレコーダー]です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名(①) : ICZ-R110
- シリアルナンバー (②) : 本体裏面に記載
- ご相談内容 : できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日



ソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。
上記内容に加えて、システム環境を事前に分かれる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

..... 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル

..... 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「3 0 4」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

© 2017 Sony Corporation Printed in China



* 4 6 9 8 4 1 5 0 1 * (1)